
風のグラスゴー

玲於奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

風のグラスゴー

【ISBN】

9788811-Y

【作者名】

玲於奈

【あらすじ】

英語のだめ 海外留学体験記

なぜ、私はここにいるのだね。
気がつけば、ここにいた。

空がほんとうに高い。青空が広がっている。
ここまで空が青いとは。
息をのむような青さ。
宇宙に広がっているのか。

飛び降りる。

飛び降りるふりをする。

わからない。

そして、そんな自分に笑う。

なぜ、笑うのだろう。

しかしながら、崖沿いの葉がきれいだ。そして、私はここにいる。
何をしにきたのだろう。

全くわからない、切り立つた崖、断崖の絶壁。
私は死のうとしているのだろうか。
わからない。なぜかわからない。

第一話 日本食で悶絶

死ぬ前に食べたあああああい。

ヒューフライおにぎり――――――

ご飯でえびフライが包まれてい

見た目は、Sランクの、モードとか入ったやつ

ても、この飯で勝負の一品

地元にはみんなおやじはそれ

（読者の叫び）

地元の名産

こんな外国でかれもしらべ

田子食魚之論

さくらの花

死ぬ前に食べ物とは、情けない。

それが欲求不満の原因なのが、

これで、死んでいいのか。

泣けてくる。つまらない人生。

こんなことのためにここまで来たのか。

そう思うと、あのだいつきらいな中学時代を

思い出した。

英語なんて、くそくらえの、時代。

なんで日本人なのに、英語を話さなければならないのか。

なんでなのだろ？。

彼が英語嫌いなのは（前書き）

なし

彼が英語嫌いなのは

英語がだいつきらいのは、
ひとえに中学校の担任の影響が
大きい。

中1の担任は、吉原ていちやー、国語教師。

温厚な先生だつた。

今、思えば、日本語は先生のために
あるようなものに思えた。

その後、大学までいつたが、

あのような温厚な先生をみたことがない。

とつとつと、語つていた。

特に、昔のやつ。

なんだか忘れたが、徒然草だかなんだかが、
とても冴えていた。
というか・・・

こちらが初めてだったので衝撃だつた。

「佐藤君、おかしといふ古語の意味がわかりますか。」

おやつだと思った。

佐藤君の家は、開業医で、万事そつなく、クラスの人気者。

彼が、「趣があることです」

と言った時、何をこの人は、言っているのか。

と思つた。

しかしながら、吉原先生が
優しくうなずきながら、正解です。
よく勉強していますね。

と言つた時、本当に驚いた。

本当に本当におどりやつた。

未決済分(未収用)

なし

お泊まつ会

担任の吉原一、以後ティーチャーの略で一とする。

吉原一は優しかった。

近隣の学校の、学校での宿泊を伴つ
レクレーションを禁止しましよう。とこつお達し。

F中、だめ。

A中、ばつ。

G中、だめだめ、だめ、接待ゆるさん。
もとい、絶対ゆるさん。
絶対に悪意を感じる。

中体連で知り合つたやつらからのメール。

親切だ。

情報をありがとつ。

うつでながしたんだけどね。

先生の間でおつたされたのだろつか?????
言葉がわからないが・・

相当の包囲網。

まさに万事急須。

きゅうすは、これでいいのか。
教えてくれ。誰に言っているのだ。

ところが、

ところが、ところが、YT

（吉原Tをさらに略す、本人YKKでよぶな。意味不明）

頑として無視。

全くもって、学級に任せてくれた。

そして、開催された。

なんだかわからないけど、学校で泊まろうっ！

お泊りつゆ（後書き）

なし

学級教員の命令（複数形）

なし

学級委員の命令

学級委員長の命令――

というか、期待せつ。

來たし や一 たに 来れは し し

「ハ」の学級の内容 読し会いでもなくわからず

開催！！！！！！

早く帰れ。」(母に詫したな。)

どうがよく承認されたな

三木に無詰合がんりがないの

と語り誰も後田、後田あり。

内心、心穏やかでない。

内申に響く
響くよね

そのような方は、適時解散。

いちお様子はみにきたよ

といつが、

日本、「頑張って！！」

頑張つて！！

（何を頑張るのか、うちらもわからない）

と書いて、ジャンクフードの差し入れ、ありがたい。

100苑、なんとかでないと買いにいけないものばかり・・・

というか、うちちらほ午後7時に学校に集まり、何をするでもなく。

なんとなく 学校の周り

外こと並立。との極で。

なんとなく燐々午後。（いいのか、漢字検定合格者教えてくれ）
たびたび思うが、誰に言つてる！――！

学級委員の命令（後書き）

なし

なし

警備の小池さん

警備の小池さんに迷惑かけるな。

誰かがざわついた。

小池さん。頭があがらない。こないだ、R壇に、逃げだすといつを

見逃してくれた。というか、授業中、

といつか4時間田終わり。

とこうか、給食あるのになぜ・・・。某工数学教諭と
息のあわないもの多數。

意味不明。

そらひ、そらに、小池さん、三者面談のばっくれ。

うひひひひにから。わかるよねえ。

協同不審。わかるよ。

職員室からもなんか言つてゐると思われる。

見逃してくれる。誰もがありがたいと思われる」と

一度や二度や、四度、五度・・・

仮の顔も三度まで。

坊主になつた人もいると聞く。が、人生買われるのは素晴らしい。

そして、そして、そして。 . . . 。

さらに、強力妨害キャラ。

まさに、ボスキャラ。

進路指導のPT、もとい、P教諭。

だつたじやすまない。昼休み。終わることなく、放課後の

説諭。意味はわからないが、自称説諭。なんだろ。

自称はなし。ろんげなの。いやかつら、失礼アテランス。

これは古いが、とつせんのことでみんな言つ。
(教えてください。誰に言つてる)

わからないが。みなの恐れるとおり、説教ワールド。

さらうに、時々、私立の娘さんの説教も入る。多分・・・予感。

なぜか、涙ぐむ。つちらに関係ない事いつ。

特に、業者テストの点。おかしい。そんなにとれない。

なし

kerorororoso (前書き)

なし

昨日の悪夢がよみがえる。

怒られの、冷の感情が入ってしまった。話をもじやつ。

みんなが、なんとなく散策、部活の忘れ物、

生徒会、部活、単なる教室もどりを装い、

単純に忘れ物を装い、

壇に沿つて、さりげなく学校に近づく

忘れ物などを理由に校内に入る。

小池さん、聞いてないふり。つまー。さすが。

といつが、最初から学級レクと言え！――！ 担任。

そこが担任をせめられないところ・・・

そして、笑えるのが何をするのでもなく。

なんとなく、氣にいつた教室に行く。

そして、そして、

氣にいつた仲間で朝まで過ごす。との指令。

これって学級レクなのか。

もちろん、担任は、成績処理とのことできょうとーに

許可をとり、職員室のセーフ、操作。。。らしい。
くわしくは、トップシークレットとのこと。
おいおい。あなたは、トムハンクスか。
МИ5か。

と・こ・ろ・で。K君。

なぜ。毛布がある！！！！

といふか、おそれへはせぬか。

セーヴル

といふか、てんと教室にはるなああ。

くれよんしんちゃんかあああ

なんとか書いてみました。

といつが、やの三日サシクやね。

よく怪しまれなかつたな、といふか、山岳部か。

K男。みんなの荷物運び。やるなあ。

山岳部わまたま。

えらい。

みんなそれぞれだらだらモード。

わよーとーも、校長が帰ったので、すばやく6時帰り。

他の教員には、さすが、担任、それに工作。

K朝なみ。

パチンコ好きの〇一、まぎらわしい。

人文字か？〇教諭だろ。

駅前、Mはんの大出血サービスのちらじ。

さらに、K、F、A Tには、コンパの誘い。よく看護学校とつきあいあつたな。

それだったら、担任結婚しろ！――！。

悪いことはいわない、シャツ2度着はやめろ。召集・・・かけられるべ。

なかなか暗号チック。

独身の居残り組。まだいた、

単純にいかない。フラワーアレンジメント、僕と一緒に行きませんか。

みくやるね。担任。愛を感じる。

ふつうひくよな。

行くか、帰るか。

・・・・・

帰ったか。

担任の今後を祈る。

まあ、休みも近いし・・・

しかしながら、

よかつた。これで、学校占拠。

あとは、もとい、誘惑の聞かない機械。

ロボコッく、

い込むのみ、
氣をつけるべし。

べし。べし。

kerororororoso (後書き)

なし

こと めかし(眞瀬せ)

なし

こと おかし

微妙な学級レク。

まあ正規じゃないからね。

でも、なんとなくみんな満足やつ。

学級全員いわんじやないの。

委員、点呼もしていない。自由です。

しかし、

なぜか、なぜか、正面玄関に集つ者。多数。

なぞ。

なんとなく集まつ、なんとなく、だべる。

探検するかとの話。

まあ、2・3人でまわつてこいつのひと。

でも、勝手に教室で「じゃじゃやつてこい」のひと。

怪しい意味也可。

お化け屋敷の逆バージョン。

教室にいる方がびびる。

誰かが叫ぶ。

担任はびついた。

嘘とはいって、フラワーアレンジメント
ショックのようだ。

何か泡の出るジュースを飲んでいる。

そつとしておひる。

みんな同意。

それそくなんとなく探検始まる。

時間は22時。

丑三つ時には、まだ早い。

こんだけいい担任だから、参りをするやつはないだらう。

某数学教諭は危険。

廊下を歩くのが静か。

どうぼうだ。

しのびあしだ。

バレーみたいな、当シユーズ?やめーい。

ていつか習つてたのか。

Ｋ子の借りるな。

男がやるな。

図書室、カーペットびき。

開ける。寝てる。何時に寝るよねん。

陸上部のＹ。朝練疲れか。

丑三つ時に起きるなよ。

祈る。祈祷するな。

十字さるな。

次。

理科室。

さすがに、こじはこちらもこわい。

ここも電気消えている。

誰もいないのか。

がらつと開ける。

怪しい光。

やばい。

でたか。

何でやねん。

電氣部か。おたくのつどいか。

鈴虫に、螢光塗料塗るなよ。

こわい。物体鳴く鳴く。

それを観察するな。

しかしながら、電氣部の新たな進化。

集団。協力。

といふか、他の学級まで集うな。

ただちに籍口令。そして、撤収。

解散。

「ついでに理科室は無人となつた。

担任も ひまついた上 楽だろ。

なんだか疲れてくるもの、途中でいなくなるものありけり。

どうでもよくなつたのか。

23時で、某アイドル番組に流れるもの。

にんぐむ に流れるものもあり。

いと おかし。

ていうか、この表現あり?

ていうか、なんでみんな携帯テレビ持つてるの?

とか、携帯でテレビ見るやつ。パケット料金大丈夫か?

なんとなく、それぞれの部屋に解散。

だべりんぐ開始でしょう。

といひで、

女子は、なんであんなにお菓子もつてゐわけ。

こと おかし (後書き)
(あわせ)

なし

「ハニカム構造」(複数形)

なし

れど、時刻はてつへんを迎えた。

べし、べし。

螢光灯の電氣をつけると

怪しきれるとのことで、懷中電灯。

もじへは、キャンプ用のライト。

もじりとゆうそく不可。電池用。

おこおいなんだ。

いじりせ二階だぞ。

あの幽しき光は、まつすゞじかひ

向かつてゐるだ。よもや。

人だまか。

丑三つ時への前兆か。

いじりせ、昔、墓地だった。うじしきつて。

電氣部の古田やめりよ。そんな古典的な。

もとい、陸軍の軍舎だつたつて。もつともふるむが。

つて、トイレの扉を半開きで、体、半身で話すな。

おまえはトイレの花子さんか。

なになに。人だまの原理は。

人間の骨にあるリングです。

おいおい電氣部、科学的知識できたか。

まじ、だぜ近づいてくるぜ。
音もないぜ。

ああああああ！！！

ああびっくりした。

おいおい山岳部のK男か。

ところで何してるんだ、あんた一人で

こんな長い廊下歩いて怖くないのか。

なんだよ。ザック化よ。

さうに巨大に見えるぜ。

スリーブ、チャーリングかよ。

マークの持つてゐるな。

高位置へシグナルあるから、

廊下歩いてある怖いぜ。

なこな、山でガスつた時の方がむつと

こわい。一歩まちがつたら崖から転落。

まさに一寸先は闇。

おせなしじもじゅうか。

おこおこしななどりで、お皿置か。

つて話、途中なのこ、さり行へ――。

べしべし。

ガスりの時の訓練に持つて――。

なんじややつやあ。

いじみつけられ（後書き）

なし

asa もの トトロ (繪本)

なし

あさまで テレビ

つて、ひきもどすな。

なになー。

ここまで来たら朝まで、生テレビ。もとい、

限界に挑戦。ギネスに挑戦。

誰が最後まで起きているか！――――――！

おこおいなんじやそりやあ。

いえつつついて、何で急に大勢

出でくるんだ。

そりや、なんじやその録音器具は、

なになに、放送部のK田が、

「ビッククリ日本新記録！――ぱくり晩」で収録して

どこかで使いたいって。

ぱくり晩。。。。

晩つて何よ。

そして、ビックで使うのよ。

えつ、ゴーチューブ。

おーおー、ゴーチューブって

テープとかの録音流せるのか???????

なんか適当に言つてないか。

まあ、いいか。やれやれ。

いえーーーーーーー、あんたら、テレビの

おばあちゃんの笑い声かよ。収録かよ。

つて曲流れるなよ。

つていうか、K田、なんでビックリ日本新記録の曲

持つてるのよ。

なになに、前に錦のあきらが出た、めちゃいけの

やつから持つてきた。あんた、よく撮つてるね。

えらいよ。

「みなさん、こんにちは、今日もやつてまつました、

「ビックリ日本新記録ぱくり晩のお時間です。」

つて、あんたうまーね。

なんとかつていつアナウンサーによく似てるよ。

「本日も解説に東海林さんを迎えて、、、なんたらかんたら

つてワイドショーかい。しぶいよ。

E のー

kーーー。

ぼー。Bー。い=え。

なんだ、なんだ、なんだ、このフェッドラウトしたといふからの

小さいミコージックのインは。

いえーーーーー。

つてなんだこの大歓声。深夜だぜ。

いのー、ボンバーいえ。

いのー、ぼんばーーー

つて、体操部。踊るなよ。

おいおい誰だよ。リング作るなよ。

つていうか、リング上に後ろから光イン。

バツクライトかよ。後光のよしだぜ、

誰だあの覆面は。

一瞬間。

つか担任かよ。つか、ちょっとした学園祭の余興か。

担任、首とか体すげー赤くないか。飲み過ぎだ。

覆面とるなよ。顔開けー。つか大ジョブか。

おいおい本当に戦うのか。

戦うのかゝゝゝ。

テレビ（後書き）
あさまで

なし

時を×少女（前書き）

なし

時を×少女

喧噪の後の静寂。

なんだか狭い空間だ。

白い小石ごと石がたくさん。

足の感触がこじれむ。

そつか玉砂利か。なぜ。

周りにしきつめられている。

その中央には。

長方形の木の枠。まわりは、いい木だ。

～調子にのつてこるわけではない。

いいにおいがある。

その中に、どんよりとした物体。

もやつてこる。

そうか、湯船か。

浴場だ。

壁までそんなにない。窮屈な感じがする。

何人かの人人がいる。けつこいつこぎわっている。

ざわつきが聞こえる。

今、氣がついたが。裸じやないか。

脇に、脱衣か。なんで、ここに。

あるんだ?????

なんだ。

なんだ。なんだ。なんだ。

誰かが、声をかけている。

思わず、玉砂利を浴槽に落としてしまう。

「なにやってんじゃ。てめえ。」

一声に体がこわばる。

その拍子に、また白い石をこくつか

木の枠から滑り出し、浴槽に落としてしまう。

静かに沈んでいく石・・・・・。

浴槽の中で小さな泡があがっている。

よく見ると、石から泡がでている。

「おんじつや、何、ぬかすか。」迫力がある。

本氣と書いてまじと読む。古い。

相当怒っている。ギャグじゃない。

強ばる顔、体を押さえて、相手の方を観る。

湯船の向こうに。相手が見える。

いつたい。何者。・・・・

あなたは誰。・・・・・

ここはどこ。・・・・・

わたしは一体誰。・・・・・

何を私はしているの・・・・

時を×少女の曲。

小さくイン。

小さくはいつて大きくなつていぐ。 CM

なんじやそりやあ。

なし

わんじわん (前書き)

なし

わんいかま

“ひつやり、強面のおひさま。

年齢60歳くらいか。やや不詳。

しぶいし、怖い。

浴槽に落とした石。

脱衣か。」。

その事で

お怒りのようだ。

改めて、浴槽を見ると。

周囲には、老若男女（せうなんて読むでしょ）（vvv）

多数。

子ども連れもいる。

だが、みんなの眼は冷ややか。

怒られて当然の様。

暴力バーではないらしい。

あわてて、石を拾おうとするが、

体を流していくなりしへ、

さうに罵声を浴びる。

だがどうあるともいきま、

腕を伸ばして石を拾う。

拾つて脇の玉砂利に戻す。

全部は拾いきれない。

いいかげんあきらめて。

「い」めんなさああい。」と弱々しく叫んで

この場から逃げ去る。

かじを脇に抱え、

浴場の向い側にいく。

よくよく見れば、浴場の向い側には、

脱衣所が整然と並んでいる。

なぜ、私だけが。。。。

また音楽がインしそう。

頭がいたい。

多くの人のざわめき。

誰かが何かを呼んでいる声がする。

「こひはゞ。。。

張りのある何かがふる。

声がする。

若い声だ。

慌てて、かごの中野、ものを。。。

ざわつきが大きくなる。

私を呼んでいる。

なぜ呼ぶ。どんどん、呼ぶ声が近づく。

突然。

誰かが私の前に立つ。

なぜ。

本当になぜ。

若い女性。20代前半と思われる。

若手のわんこそばの衣装????のような。

かすりの着物を着ている。

赤い帯がまぶしい。

「 様、行きつけのお店 大将。

大将のマスター様に選んでいただきました、

陛下もご賞味されたまんじゅうそばにこ

なります。」

なにを言つてゐる。

なんで、私の名前を知つてゐる。

行きつけの 大将。

なつかしい。断るが、

餃子のお店ではない。

少しうれしい。個人情報は流出しているが。

脱衣場の向こうに、テーブルが広がる。

わんじんば（後書き）

なし

なし

広がったテーブル郡、

意外に部屋は思ったよりせまい。

10畳くらいいが。

いくつか、何か置いている。

自分の名前が殴り書きされている。

小さい四角柱の透明なストーンが

重しで置いてある。

その下には、

うちわの形の紙が重ねてある。

なぜか。

必勝！――――――！

なぜ。

何に勝つ。

なににだああああ。

意味不明。

手にとつてながめてみる。

シールのようだ。

結構使えるかも。。。

なににだあああああああ。

そして、その脇には、カード状のものが

重ねてある。

長方形の名刺サイズ。

赤の枠で囲つてある。

手の上に広げてみると

赤の縁枠にまわつて、

中に金色の「ゴールド」のものもある。

さら、赤枠でも正方形のもの。

小さい長方形。

とつめこなラミネートのようなもの。

なんと、全部名刺。

「おまかせください。結婚は私たちで。」

婚活か。

ふと壁を見る。

Nが他県で婚活パーティ。

おいおい、ちらしだ。

万代橋そば。会場の地図がある。なぜここに関東でなくNがた。

絶対大丈夫。大丈夫なのか。

次。

大将に選んでもらった。

まんじゅうそばが食べられるらしい。

さつそく頼む。

その時。

向こうの廊下の奥から、

一列で歩いてくる一団。

どこかで、みたイメージ。

ゆっくりした、スローな感じ。

フラッシュバック。

後光がさしている。ぶろつけん現象か。

ドップラー現象か。

「「「白鳥先生の、総回診———。」「」」

白い教頭。

白髪か。

もとい。

白い巨頭。

でも一列。赤い服が多い。

もしや、名刺の。

あわてて名刺を見る。

婚活アドバイザー集団だ。

温泉で婚活。なぜ。

それに田をつばわれ、
点になる。

あこよ。威勢のよー声。

突然。田の前に、そばがきた。

ずずずと食べる。する。

うまい。なんて言つていいかわからない味。

なんとも言えない味。

が、うまい。

一息で食べる。

食べ終わって、カードをそのまま

奥へぶらつく。と書つか引き寄せられた。

奥は、ちょっとした近代工場のよくな、

白い白衣に、帽子を、マスクをかぶった人たちが

つけものをしわけてている。

「ぶりの樽から出して、それを別な樽につけなおしたり、

小さな袋や、タッパに入れている。

なんとなくうるつく。

近代工場のようなのに、なぜかロビー。

密が近くでいいのか。

ギャップがはげしい。

突然。パバーーと呼ばれる。

誰のこと。

もしかして、

小さい3歳ぐらいの男の子が足にまとわりつく。

いつ結婚した。

といふか、自分の子どもなのか。

あらたな結婚詐欺か。。。。

「なんだここに居たのか。」

しわがれた声。初老の男性が近づいてくる。

田は笑つている。

「探したぞ。おじさんも待つてる。」

わけもわからず、

一緒に、もと来た廊下を戻る。

子どもは手をつないでくる。小さな手だ。

戻り際、

誰かとすれ違つ。

その時。

ビシーン。

まさか。

なげ。

背負い投げ。

後ろから投げ飛ばされる途中で、

時間が止まつてゐる感覚。

スローモーションでながれていいく。

床に、ビシーンと、打たれる。

「まこつたか。」

見れば、わきまびの浴場で私を激怒した

強面のおつわん。

「ヤコ」と笑つてゐる。

「のまま意識が無くなるのか。

田の音が白くなる。。。。。

白い四縁（後書き）

なし

なし

遠くで何かが鳴っている。

なんだ。

あの音は。

すしーん。すしーん。

よつ。

とう。

すしーん。すしーん。

よつ。

とう。

すしーん。すしーん。

ここはどこだ。

白いもやがかかってた感じ。

天井の壁。

どこかで見かけた壁。

ゆっくり起きあがる。

何人も倒れている。

どうした。

何かにやられたか。

遠くに巨大な何か。

白い棒が4つ。

ひものようなものが取り囲んでいる。

リング。

そうか。プロレスの最中。

トランス状態に。

ここは学校か。

慌てて窓に駆け寄る。

校庭。

誰かが、声を出して

叫んでいる。

誰だ。

何が起こった。

目をこらす。

陸上部のY。

高飛び練習だ。

朝練やるなあああああああ。

ついでい――――――。

そうか、あれは夢だったのか。

よかつた。

悪夢だった。

なし

月光仮面（前書き）

なし

ほつとへたりこむ。

なんちゅうじレクだ。

そのまま後ろにひっくり返った。

ざわめきを感じて起きる。

教室の時計が5時過ぎを指している。

もそもそと起きる。

なんとなく昇降口に向かつ。

まだまだ テレビ。

起きていたような人々が集つていてる。

毛布を肩までかけてだべりこんでいる。

いろいろな場所から集つてきているようだ。

番組は続いているのか。

外で担任がたばこを吸つていてる。

背中が寂しい。

校門の方から誰か来る。

すごい早さだ。

何事。

どこかで見たかつこう。

教頭だ。

担任へつかみかかりそつな

勢い。

らりあつとをくらわせそつだ。

すさまじい勢いでまくし立てている。

外ゴミ箱を頭上に持ち上げ、

だれかがせまる。

思いつきり投げる。

きれいな放物線を

描いて、

ゴミ箱。

がっしゃooooooon。

教頭。

四九〇

投げたやつを追いかけている。

10代は早い！

つかまらない。

いちもへん。

消えた。

すばらしい月光仮面か。

どーこの誰だか

知らぬいけれど。 。 。 。

昭和。

なし

白い大きな入道雲（前書き）

なし

白い大きな入道雲

翌日

晴天がまぶしい。すかつとした青空。

そして、その日も暑かつた。

軽く35度は超えた。

レクに参加した全員。

校長もとい教頭に

反省文を書かせられた。

きつたり4枚。なぜ4枚かは謎。

「めんなさい。」「めんなさい。」と

果てしなく書く、猛者もいた。

「購買のパン、2個で請け負ひ」

との同学年他学級の甘い誘惑に

心ひかれたが。

(おいおい、代筆業者か。

こんなことで小銭をかせぐな。)

内申がどうたらどう輩はいなかつた。

それぞれ、みんな学級学園祭だつた。

と満足だつたのだろう。

(他学級もマネしたがつたが・・・)

といふで、

吉原T。 Y-Tは。

もあらん逃れられず。

4円のあの温厚とも

つゆとわく。

7月までの短い間だつたが・・・

学校の関係者の多くを裏切り。

そんな先生じやなかつた。

うちらが変えたとの話も

上級生や、一部学校関係者から

ちりめり。

もともとの性格を纏していたとの話も

ありけり。

幸いPTAは騒ぎ出さず、

一部 S徒描Dぶ朝は、

そつとひのむ冠だったが、

特に他学級への波及を警戒。

しかしながら、

Mはんや、看護学校の先生方が

すばやくフォローをいれ、

(なかなかよかつたらしい。いろいろと)

重い処分や、飛ばされることもなく。

引き続き、つちりの担任。

Y-Tとなつたのである。

めでたし。めでたし。

おーいそれでいいのか。

夏休み明け、空はどこまでも青く。
白い大きな入道雲が山からわき上がり、
そしてきつちり35度超えの夏でした。

9月のことであつた。

白い大きな入道雲（後書き）

なし

クレアラシル（前書き）

なし

クレアラシル

話を戻そう。

そのような不思議な国語担任。

YT。吉原T。

私は、国語に強くひかれたのだ。

キャラクターによるところも

大きかった。

今、考えると思う。

そして、ついに登場。

主役キャラ。

英語T。

クレアラシル。

解説しよう。

彼女は、英語のイントネーションを

私たちに教えるべく、

口を大きく開け、

開けすぎて口の脇が

やや切れる

そこで登場白い薬。

なぜか、みんながクリアラシルと呼ぶ。

今振り返ると。

四三三

何か E.T.（英語 T. 略）が

私は、畠さんのために、

豊かなマンエキシソン回路のための

口が切れるの。
×
「この薬を塗っているの。」

と授業中。熱演もとい

説得？？したが

誰も薬名を覚えず。

以後、引き続き

クレアラシル。

謎が謎を呼ぶ。

クレアラシル（後書き）

なし

これでいいのか日本人（前書き）

なし

これでいいのか日本人

私は確信する。

小学校から中学校にあがつて、

なんとかとかの教科で

少し英語をしたような氣もするが。

やはり、はじめのイントネーションが

すべてを決定したのだと思つ。

学力は著しく低下した。

そして

2年で恐るべきことが起きた。

外国の先生が授業をすることになった。

いいのに、国際化に備えなくていい。

学費もあがるからやめと」「つよ。

うちらの心のつぶやきは関係なく。

そして始まつた授業。

冒頭いきなり。

い・き・な・り。

ゲームをするといつ。

早口でルールを説明する。

わからない。

英語でなんとかといつて、

ゲームはスタート。

なんとなく。

相棒（某ドラマではない）の

といひへ、

徐々に集まる。

「なんだべ。」

いきなり捕まれた。

廊下に直行。

後で知つたが日本語禁止とのこと。

英語授業は日本語禁止と後で
知った。

なぜ、説明を始めにしない。

したのだろう。多分英語で・・・

「なんだべ。」

で私の英語人生は終わつた。

これでいいのか日本人。

なんだかどつかの番組名だ。

これでいいのか日本人（後書き）

なし

なし

暗黒時代

こうして暗い英語時代を過ごした。

まさに暗黒時代。

思えば、ローマ字もかなり怪しかった。

登下校で街に行く。

車の後ろの、社名。

車の名がわからなかつた。

TOYO まる

ティオとか読んでいた。

スペイン人か。

ギリシアの人か。

相当やばかつたらしい。

(友人談話)

ひいいていたらしい。

密かに。

本人には言えなかつたそつだ。

もちろんそつであるから、

学力も低空飛行。

40点が危ないと

言われていたが、

よく40点だいをキープできた。

ときどき、砲弾にあたり

30点圏内に落下しそうに

なるが、

友人の「これ、ETのまちがいだぜ。」

で助かる。

本当に危なかつた。

助かつた。

あのとき、私は神を信じた。

追つまいじつ。

なし

スザンボイル（前書き）

なし

スーザンボイル

本当に。

本当に、本当に。

しつこいが本当に。

つらい戦いだつたが。

(特に英語。そこを強調)

何とか私は生き残り、

次へのスタートにつくことができた。

(内容は、高校ラブソティ 純情編

本編終了後着手予定。「期日未定」

もし、後日お見かけの時は読んでおくんなさい。)

さらに、私は幸運の青い鳥。

もとい、黄色いはんかち。

もとい、白い北野天満宮のお守りのおかげで

本当に最後は神頼みしか残されていなかつた。

父も、母も、お参りに行つてくれたらしい。

本当に、

本当に、本当に、

これで自分の人生。運を使い果たしたと

思った。

後で、

それがまちがいで

なかつたことが証明されるのだが。 。 。 。

それは、また別の話・・・・

さて、3月。

職員室でも話題の、奇跡の人。

時の人。

D高校のスーザンボイル。

祝 卒業。

じつじて

私は

九死に一生を得て、

ばかだ大学に合格することとなつたのである。

桜がその年はやけにきれいな、春3月であった。

スーザンボイル（後書き）

なし

なし

海辺の街

きつよくなつて
新しい章に突入できそうだ。

大学は、海辺の街だつた。

それでも

圈のはずれだ。

なんでもその大学は、

はじめは都会から離れ、

心をきれいにし、

野に抱かれ、自然を愛し、

そして、あるところで

都心にうつむらじー。

何を心配しているのだらひ。

しかしながら、私は金錢面で

助かつたと思ひ。

そして、自分のあか抜けなさからも

よかつたと思う。

とにかくにも海ははじめてだった。

穏やかな海。

たおやかな海。

誰かと行くのだろうか。

そんな事を流れゆく

電車の窓から考えた。

そして、

まつたぐ。

海を見て、

山をへりこいたけ。

とってもめずらしかったけ。

言つさうこなつた。

本当に田舎者であった。

部屋の真ん中に座る。

空虚な時間が流れる。

何もない。

夕方の赤い日がかかる。

暗くなる前に

出かけた。

角をまがったすぐに

全国チーンのCMでおなじみの

「ンビー」があった。

近い。

迷わず入る。

学生街か。

集つている。

そして、

夜

一人で

がらんとした部屋で

350のビールを飲んだ。

コンビニで未成年ですか。

と聞かれたらまずいと

思ったが、

そこの中で

学生が飲んでるのか。

何も聞かれなかつた。

はじめての飲酒。

一口飲む。

心底。

苦かつた。

今の自分を指しているのか。

学校で

あれだけ、

皆が

騒いでいた。

泡の出るジュース。

まずかつた。

氣がしれなかつた。

泣けてきた。

(テレビは欲しいと。。。。)

なし

ダチヨウ俱樂部（前書き）

なし

ダチョウ俱乐部

そして

自分でわからなかつたが

なんだか落ち着かない

華やかな雰囲気だからか

なぜだ

女子が多いからか

全体の4分の1しか男子がいない

聞いていない

(ダチョウ俱乐部か)

(いやかえつてダチョウ俱乐部くらいの
明るさならよいが・・・)

氣が重い

ばんがらな自分には合わないと

思った。

男子高出身者には

つらい

また

慣れていないからだと
思つ

チャラチャラ系男子も
多い

そのようなところが
ところ

ぱあっと盛り上がっている

それで全てかと思つが

沈んだところも

つら

テンションのやたらと
高こじょしーには

田のやり場に困るし

愛想笑いも疲れる

そして

一步間違つと

怪しい人

左右に座るのも
もちろん
じょつしー

氣疲れ

椅子の左右の肘当て?
も考え方の

どーんと座りたい。

式が始まつて

何人目か、

何人か忘れたくらいの来賓の挨拶時。

突然。

春休み

暇でみたCSの

健さんを思い出した。

男はだまつて。。。。

自分にもあの生き方が出来るのだろうか。

世界が違うすぎる

なし

21話の後に読んでください おハイソ（前書き）

なし

21話の後に読んでください おハイソ

インターネット接続トラブルによる
21話の後のこじらりが22話です。

22話は、23話になります。
訂正いたします。
重ねてすみません。

上京してしまひく、

入学式があつた。

ややハイソな感じのする

自分に似つかない

テレビ的な

学校だと思った。

おしゃれだ。

ただ、沿道の桜はきれいだつた。

校舎か。

本当に綺麗だつた。

満開が過ぎ、

散りゆく景色が

心を揺ゆかした。

予備校に通うA。

家業を継いだS。

敗者の弁か。

自分は

よくまあ、上京できたものだと、

金錢面を含めて、おふくろに感謝した。

そして、

驚くべきことに、

当時、別なおふくろさんも世間を

にぎわせていた。

ぼうを持つた人の家が、

自分の家におもかげが似ていた。

落ち着かない学食のテレビで、

見た。

視線に困つてテレビなのか。

そんなことを覚えている。

式には、

母は、上京はしなかつた。

同じく無骨な父も。

同じだつた。

式では父兄の姿が目立つた。

ブランドがわからない私にも

一見で高いとわかつた。

自分は、量販店で買った。

恥じてはいない。

ネクタイも

結べず、

小一時間苦戦した。

21話の後に読んでください おハイソ（後書き）

なし

トンネルを抜けると・・・（前書き）

なし

トンネルを抜けると

トンネルを抜けると

雪国だつた。

遠いどこかで

誰かが言つていた。

その静寂とは別に

とても

ざわついている。

いや

浮かれた雰囲気だ。

乙県の県境まで行くらじこ。

山

また

山の感じがする。

さすがに高速なので、

風情は遠い。

すうすうと流れる感じがある。

バスは何台も連なっているそうだ。

私は、

やや寝坊し、

本当は

行かなくともいいか

と考えた。

しかし

学生課の職員に

行かない者は

「お尋ねものになる」

「私の言つことを聞きなさい」

30代後半 女性職員

みつこ
に言われ

やや高圧的

いやかなり高圧的

といふか脅迫か・・・

最後まで抵抗したが

名簿に

一つだけ

見事にぼっかり

空いている空欄に

をつけさせられた。

トンネルを抜けると・・・（後書き）

なし

なし

君の名は。。

大学を続けるか。

それとも。

それが踏み絵らしい。

担当教官への

学生のお披露目もあるので

絶対の参加

服従？

だそうだ

大学は自由な思想？
ではなかつたのか。

そして

来ない者は

左遷！！！

村八分の

憂き田にあうらじい。

そういうつた流れ者に

憧れる自分が

こわい。

しかしながら

昨今の少子化

大学としても

いきなり

退学者を出すわけには

いかないと考へて いるらしい

・・・

それが踏み絵と説得か。

果てしなくだるさを感じる

話をだいぶ前に戻す

実は

入学式でシラバスという

電話帳かと

見違つ冊子を渡された

この帳面から

自分の

選択する単位教科を

選ぶらしい

調子のいいヤツは

そこから単位が簡単に取れるものを

入部しようとしている

いや
するのか

サークルの先輩から

聞き出すらしい

もちろん

私は

まだ開いていない

おそかれ
はやかれ
また
みつこに呼び出される
であろう。

(もちろん
みつこは私が
勝手に付けた名前なので
本人の名を知らない。
君の名は。。。
どこかで聞いたフレーズだ。)

君の名は。。。 (後書き)

なし

なし

そんな私があるので

自分がどこに所属しているか
わからない

発車ぎりぎりの

バスで

多分

私がこないだらうで
いらっしゃく

学生課職員 よしおに

学籍番号を言へ

最後のバスであるこのバスに
よしおと共に乗り込んだ

いや押し込まれた。

本当に流れ者はいなかつたのか

あと少しで流れ者に

なれたかと思うと

また

健さんを思い出し

少し

涙ぐんだ

去る者は追わず。

後口談だが

去る者が若干名いたそうだ。

永遠にたどりつかない

尊敬。

さてそんな

私の氣持ちはおかまいなく

バスはどんどん進んでいく

はじめの頃こそ

携帯片手にペーぺー

頭をさげ

さも私は悪くないを

演じていたよしおも

快調にすすみ

先発隊に

近づくことを

確認できると

不機嫌さがなくなつたようだ

しかしながら

それに反比例しながら

私の心は沈んでいく

何年も前からの親友

みたいな顔で

座席でしゃべる

周りの人々

なぜか

最後尾が空いていて

本当によかつた

みんなの無言の
追い立てか。

一人だ

すがすがしさもあり

少しの寂しさも
あるが

氣疲れするよりは
ましか

どこでもいる

おせつかいな
ヤツが菓子を
まわしながら

情報収集にこないうちに

眠つてやううと

眼をとじた

幸い自分のアピールに

精一杯の人々だらけで

一握りの

偽善者もなく

平和に

私は

深い眠りにつくことができた。

なし

なし

友だちひるひる

起きるとバスは止まっていた。

誰もいない

はつとするとが

どうやら休憩のよつだ

よしおのいびきが
最後尾まで聞こえてくる

みんな青空の下

湖畔で戯れている

遠くに名のある
山が見える

歓声をあげ

しきりにデジカメで
写真を撮る集団

お互に撮り合って

仲間意識を作っている

偽りの時間

友だち、この
はじまり

ふと見ると

それらの輪にそまらず

ベンチで座つて

はぐれでいるものをいる

何かのポーズか

誰も声をかけなくても

動じない

すがすがしさを感じる

一人を楽しんでいるのが
伝わる

すごい

感心した

誰も氣づかない

心の強い
芯がある

窓からじばし眺める

もしかしたら
観察していたのかも
しれない

身長は高め175cmくらいか
もしかしたら180はあるか

すらりとした姿勢
優雅な横顔

知的なきれい
目鼻立ちはつきり

日本人でないような
感じもする

ハーフか

オーラがでるのではなく
自然な感じが素敵だ。

つかのま

ぼんやりしていると

時間なのか

三々五々

皆がバスに乗り込んでくる

何事もなく出発
私には何かあつた。

なし

なし

合宿所

研修所に到着した。

随分と時間がかかった

4時間弱か

夕焼けがまぶしい

そして

まだはやいが新緑の息吹を感じる

確實に空氣はおいしそうだ

真新しいうすいクリーム色の外壁

幾何学的な形の小窓

合宿所は

ちょっととしたしゃれたホテルの

ようだ

大学の持ち物らしい

先発のバス数台は

もう到着し

どんどん学生が入り口にすいこまれていく
砂糖に集まる蟻か

べつに私に砂糖はいらない

正面玄関で学籍番号を探す

学生課若手職員が教えてくれた

男子の数は少ないので2人部屋の個室だそうだ

一人を祈るがこれだけの人数 そうもいくまい

丘の地形をそのまま使っているからか
曲がりくねった廊下をすすむ

いくつかの棟の
つきあたりが私の部屋だった

せまいことを覚悟したが
外見だけで中は意外に広かつた

簡素な机が2つ

合宿は意外に

3泊4日も
あるのだ
学習会もある

相当、懇親を深めたいらしい

孤独からの自殺者を減らす目的か
考えすぎか

大きな窓

ベッドは2段になっている

本当に簡素な作りだ

相方は来ていない

このままこないことを

祈る

なし

なし

どんぐり

そこへ

突然扉が開いた

物静かな

ややすんぐりなどんぐりが

いや

男が入ってきた

名乗りはしない・・・無言

まあ これくらい

静かな方がありがたい

きらりと笑いながら

よろしくとか

握手とかされたら

たまらない

こちから名乗る

普通の対応、

なぜ普通を装うのか。

悪い自分。

はじめからべたべたするわけではないが
二人で夕食会場に向かう

大きな食堂だ
まあ学食か

バイキング形式
すごい人だ

あの中に入るのはつらい

窓辺の席で待つことを
どんぐりに告げる

どんぐりは腹が減つてたまらないのか
さつせと躊躇せず進む

人を見るだけで疲れる

まわりを観察する
手詰まりで煙草が吸いたいところだが
もちろん灰皿はない

窓の外の暗闇を見る

真の闇
暗い

背の低い

薄暗い街灯に照らされて植え込みが見える
よく手入れされている

作られている世界

群がる人々

はざれるのは簡単そうだ

どんぐりを探そうとしたが
もちろん見あたらない

それにしてもあの人だからに
突進していく
どんぐりの勇氣
尊敬に値する

どうべつ（後書き）

なし

山盛つボルト（前輪用）

なし

山盛りポート

ほんやり探していると
テーブルつづくらに向ひ

あの湖畔の女性がいた
一人かと思いきや

ちゃきちゃきした小柄な
少女??が立ち回っている

かいがいしい

こちらには氣付いていない

それがいい
それがいい

どんぐりが戻ってきた

おぼんにたくさん
おかげを載せている

ちゃんと私の事を忘れずに
こちらに来る

律儀だ

なんだか食べるのだがどうでも

よくなつた

近づいてきて

どんぐり

いきなり山盛りポテトを
私に寄越す。

ケチャップのステイックもつけ。

取るのが好きだとなんとか言つて
これも食えと言つて
ケンタッキーのような若鶏もも肉も
ずらしてくる

悪い奴ではなれうだ

すごい勢いで食べて

また戻つていく

食事と真剣に向き合つてゐる

私は一つか二つポテトに手をつけ

なんだかお腹がいっぱいになつた
氣持ちよく食べるのを見ると

こちらまで十分な感じだ

今度はサラダとトマートを
持つてきた

マークだけ遠慮無く

いた
だ
く

なし

〃一テイঁング（前書き）

なし

ミーティング

人の出入りがあわただしい

うちから4・5テーブル向こうの

中央の通路を

黄色い歓声を

あげて通つていく

グループの多いこと。

この後

ミーティングとこうの

顔合わせが

体育館であるらしい

文学部全体で

顔合わせとは

何人になるのだろうか

100は軽くいるだろう

どんぐりが言つたのは

全学部は無理なので

いくつかの学部」と云

時期をずらして合宿するらしい

文学部、教育学部がつらりのチームらし

はじめて知った
といつか、学生課みつこ
と言えよ

あんなにバスに乗つて
2学部とは

何が少子化だ。

ばか田大学のブランド恐るべし

どんぐりは続けて
工学部、経済学部なんたらかんたらと
学部を教えてくれたが
なんちゅう数の学部だ

啞然

学部にわけのわからん名前をつけないでほしい
純粹に研究したい

おまえが言うか

といつかそういう私も何を基準にこの大学を
選んだのか今さらながら意味不明

高校スーザンボイル事件

へたな鉄砲も数うちや当たるか

人生そんなに甘くないと
進路指導Tはしみじみ言つていたが

それこそ

沖縄でめんそーれか

北海道の北のはじか

そこまで考えれば

なんとか口もあつたらしいが

それとてさつこんの

夢見がちな学生によつてどんどん
漫食されはじめているらしい

よくまあこここまで

こられたな

それより体育館でじうするのか
学部対抗バスケ大会（笑）するのか

（せつぱり）あり得ない。

なし

なし

よくまあ、あれだけ食べれるな。
といつほど食べ、

私が遠慮したポテトもたいらげ

「テレビで野球を観たい。」

どんぐりはそいつでどいかに消えた

私も煙草が吸いたくなり

おもうとして

果たして吸えるかと考え

この人混みでさがすのも

おっくうになつた

バスではなんとなく

沈んだ心で健さんだったの

我慢できたが

いよいよ禁煙か高3の追い込み以来か

なにはともあれ、体育館の裏手でも

行ってみるか、どうせ集合場所だし

といふ軽い気持ちで

出かけた。

（！－！この思わぬ氣まぐれが
彼の人生を大きく惑わすとは・・・）

続く・・・

といふか、いつも続いてるやろ。・・・

（そんなこんなで大型時代劇 もとい 青春群像活劇

風のグラスゴー・・・

まだまだ海外にはたゞりつきまくんで）

禁煙（後書き）

なし

なし

「よつし——。。。。

何を言つてゐるのかと

思つた

なぜ、わしの名を呼ぶ。

ていつか人違ひだけど。

もちろん。

そして、なんで人けのない

こんな体育館裏手で

誰かを呼ぶ。

逢い引きか（ふるつ）

こじらの周りは、背の低い街路灯はあるが

いかんせん灯りは暗い、かなり暗いと思う。

はじめは

勘違いしてゐるのだと思った。

ひからひは、煙草を吸おうと思つたひ

まさかのオイル切れ

なんでやねん。自分で自分にびつべ

とこりが、呼んでるのだれえつてかんじ

まれに、任侠映画の「おどどつや。どたま かちわるね。」
的状況。

よくわからない。

まだしつこく呼んでいる。

「よつしーーー。。。」

携帯で呼び出せよ。

あるこは呼び出されたか。

さすがにこの闇におそれをなしたか、

呼んだはいいがこちらにほこない。

ぞまあみろ。

誰に叫つていいるかもわからないが。。。。

そんなふとした油断をけちりし

悪魔はやつられた。

ひめゆ。

はひひ。

ひつ、まひひや。

れいの食堂の。

ガシ———ン。

軽い脳しんとうを起じるやうにならながい
いや起こしたのか。
倒れそうになる。

あの
小柄な少女。
いや、少女とは言えない。
うからうと回じ年ば。

なんであなたがこじこじの。 こじの感じ。

やして、なんでハコアシトなの。

「ひ———。 つて誰ひて感じ。

泣く意識でやつ思つた。

そして、堤の上端にあの湖畔の女性がいた。

なし

幸せの黄色いハンカチ（前書き）

なし

幸せの黄色いハンカチ

氣が付くと

体育館の雨を打つ砂利

犬走りに寝ていた

どのくらい

寝ていたのだろう

遠くからざわめきが

それが

すぐ脇の体育館の外扉の中だと
わかるまで

数分

いやもつと短かったのか

ざわめきが大きく聞こえる

外扉を開ける

まぶしい

始まるところだつたらしい

扉を閉めてそこに佇む

とにかく氣を取り戻す

なんちゅう人の多さやねん

舞台で挨拶が始まつたらしげ

急速に馬鹿らしくなつてきた

そして体育館裏手にすゅうこーでもあるまいし
行つた自分が情けなくなつてきた

自分に嫌氣がさし

部屋に戻るべく入り口に向かう。
くだらない話はまだ続いている。

そして、そこに例によつて学生課よしおが待ちかまえている
そういうやつこつもよつしーーーか。

「ちよつと頭がいたくて」

よしおにまつ。

確かに倒れただけあつて顔が青かつたのだろう
何も言われず

行つてよしの片手ふり。

こいつは氣概なしと思われたか。

まあいつものことだ

部屋に戻る

後ろから、なにかアトラクションか
ゲームが始まったのか

大きな歓声がする。

やつぱり学部対抗バスケ大会
当たりか。

俺がいなくて、文学部は損したな。

幸せの黄色ハンカチの武田鉄矢のよう

捨てゼリふを吐く。

なぜか笑いがこみ上げてくる。

幸せの黄色いハンカチ（後書き）

なし

今までにない
人混み

そしてバスでの疲れもあって
横になつたとたん
眠つてしまつたらしい

ふと氣がつくと
時計は午前2時・・・

ここはどこ。一瞬。
どこにいるのかわからなかつたが
そうか合宿に来ていたことを
思い出した

毛布がかかつていた

どんぐりがかけてくれたらしい

氣遣いの男か

ジャージに着替えてベッドに入る
ドングリは仏様のように
安らかに眠つている

デブはいびき、偏見は崩れた。

・・・

少し眠れず

今日の出来事を反復する

なぜラリアットなのか

そこが一番だ。

いろいろ考えるが答えが見つからない

このまま眠れないか

羊でも数えるか

と思つていたら

寝てしまつたらしい。

カーテン越しの

やわらかい日差しで目覚める

嘘ではない純な鳥の声が、まぶしい

もう片側の壁側のベットの

どんぐりがいない

カーテンを開ける。

新緑になりかけた木々の新芽がまぶしい

窓からは見渡す限り森しか見えない

森の合間を建物が見え

それらをつなぐ廊下が延びている

森にあつて調和がとれている
なんと広い合宿所だ

昨日はわからなかつたが
大きな山が正面に見える
ここはその中腹だったのか

静かに椅子に座り

朝のすがすがしさを味わう

海辺のカフカで

あの街も

すがすがしさもあるが

やはり広大な森林にはかなわない

コーヒーがあればいいな

白いスマートな帽子が

入ってきた

誰かと思つたらどんぐりだつた
なんとも洒落た格好をしている

良家の子息か

格好を褒めると笑いながら

量販店のジャージだとのたまう

時代は変わつたか

そういうやいつも体育は

小豆色の高ジャージ

寝間着のジャージも

お袋が買つてくれたまあ普通のやつ

自分に合っているかはわからないが
悪くもない

何処に行つてたか尋ねると
ジョギングしていたらしい
見ればジャージが汗ばんでいる
動けるデブか

どのくらい走ったのか聞くと
3・40分くらいだそうだ

普通という

ハーフマラソンに前から挑戦しているらしい
なんじやそりやあ

松田勇作 台詞が違う

恐るべし

爽やかとしか言えない健康的デブ
繰り返すがデブの範疇を超えている
超人デブか

なし

なし

青い缶

手に何か持っている
青い缶

「コーヒーだ

無言で私に投げてくる

さすがどんどんぐり
気遣いの男

温かいのがよかつたが

贅沢は言えまい

飲みながらこじらの自然の素晴らしい景色を聞く

嫌みに言わないのが氣にいった
自分も走ったような錯覚
やってみようかとも思った
タバコ吸いにはまあ無理だろうが

昨日の様子をどんどんぐりに聞く

体育館にパイプ椅子が並べられて
合宿のオリエンテーションだったらしい

そういうコアクトが効いていたらしい

パイプ椅子など氣づかなかつた

文学部の半分と、教育学部の半分ずつが
この合宿で集められたそうだ

あれで半分ずつとは、なんちゅう大学だ

なし

洋なし（前書き）

なし

洋なし

昨日の様子をじんぐりに聞く

体育館前方

ステージ前に整然と
パイプ椅子が並べられ

いやはや

そうとうラコアットが効いていたらし
パイプ椅子など氣づかなかつた

世に恐るしや

部屋割りどおりに
パイプ椅子の背に
番号が振つてあつたらし

うちらは囚人か

そこまで管理するか
あざとい。

やうに言つなら

部屋割りは学籍順らしく
私の学籍は042474

これもおもしろくて
思い返せば

カードをもひつた時

一瞬

世に用無し（洋なしでもよかつたが）と読め

史学、年表覚え過ぎ、
そんな読み方をする自分の
あまりのばかりじさに笑つたが

どんぐりは、042502
その差、28名

男子は極端に少ないので
ご縁というわけか。
そりやあそだわ、男子と女子を一緒に部屋に
するわけにやあいかないし（笑）

そつして

そうやつて誰がいなか監視しているのだとか
ばからし。

でもそんな逃げだす度胸のある奴なんていないんだね
なにしろ座席は、みんなうまつて。
どんぐりの隣だけポツンと空いていた。
そうだ
かえつてどんぐりが恐縮したらしい。

大笑い。なんてつたつて。
私は、よつしーーーに許可もらつたかんな。
意外に役立つな、よつしーーー。

さてさて内容は、合宿のオリエンテーションだつたらしい

文学部の半分と、教育学部の半分ずつが
この合宿で集められたそうだ。

それにしても

あれで半分ずつとは、なんちゅう大学だ。

人の集めすぎ

しかしそうでもしないと

経営が成り立たないのである

洋なし（後書き）

なし

なし

お代官様

内容は前に入学オリエンテーションで説明された話をなぞる話が多かつたそつだ

入学オリエンテーション

初耳だ

参加していないもの

若干一名

どんぐりやや驚くが

そこでとばかりに

メモを見ながら丁寧に教えてくれる

学生課の説明はまどろっこしそうだから
いかなくて正解か

1年次は教養講座。

2年次でゼミに入部すること

教養の単位はざつと以下のようなものがあること。

倫理学、法律学、法律概論、経済学、地理学、史学、哲学、
言語学、化学、環境、情報、情報科学、自然学、書道、
芸術、美術史概論、自然科学、数学、英語、ドイツ語、
フランス語、スペイン語、中国語、そして体育。

つていうか体育まであるのか。

さらにもうまだあるらしいが一般的なものを

教えてくれた

そして、外国語は、複数選択なので要注意とのこと。

2年次からは、ゼミや専門教科が始まるので
1年で習得するのが望ましいこと。

合宿最後の日までに、マークシート式のシラバスを提出すること。

そう言って緑色のセンター試験の時にお目にかかったような
紙をひらひらさせる

なんと2枚もらってきてくれている

さすがに健さんも授業にいかないと
放浪の寅さんになってしまふ

どんぐりとも

何かの縁。

腹を決めて

どんぐりに教えを請おう

しかしながら

なんのことない、

要は、シラバスの回収と仲間作りか

大学もよく考えたものだ

そんな奴らの思うつぼも癪だが

まあ、説明会に行かなくてもシラバスを出す
ことでキャラとするか

何をやっても平均点以上
どんぐりは説明もうまい
学生課でもやっていけそうだ
よつしーー。の小狡い顔が浮かぶ

どんぐりに聞いてみる

もし教養がうまくいかなかつたら
留年になるのか

それはない。
どんぐりは即決
そりやあよかつた

2年次、自分の希望学科に不利になるのか
という質問は、

したりという顔をして
いい質問です。
と言わんばかりに

そこは質問が集中し
皆の関心があつたそつだ

ただ、学生課は一言。

自分の希望学科に不利になるかは、
ないことはない。

追つて沙汰する

代官様か

あくまでもお上だ

理路整然系学生が、説明を
求めるが

質問は打ち切られ
そこでオリエンテーションは終了
したそうだ

秘密かい。

なし

赤いミラーのしゅしづ（前書き）

なし

赤いマーのじゅしゅ

どんぐり。

帰り際おもじゅごじがあつたそつだ

19時からの説明会

教授の挨拶も長かったが
学生課の合宿諸注意といつながなが
くどい説明もあって
要は、はめをはずすなといつお達し。
終わったのは21時半過ぎ
どんぐりに悪いが
いやあ出なくてよかつた

くたくたで足取りも重く帰る際
肩をたたかれたそだ
出口で張つてたんだうつ

身長160cmくらい

小柄

ボーアッシュュな髪型

赤いミニーのしゅしゅ

ジーパンのポケットから

ミッキーのストラップがじゅじゅじゅ

女子

しつかし、どんぐりよく観察してゐるよ
シャーロックホームズ
何やつてもそつがない

そして

相棒はどうしたと聞かれたそうだ。

伝言として

「明日、朝食会場で待つ。」

「場所は、夕飯食べた場所と同じ所に座るとのこと。」

言つとすたすと行つてしまつたそうだ。

後ろに、背の高い170cmくらい

モデル系

ハーフ美人

風と共に去りぬのスカーレット・オハラに似ている

服装は地味。Gパンにトレーナーさすがシャーロック。

赤いミニーのしゅしゅ

なにかピンとくるものがある

ラリアットの時

スローでよみがえる

髪の束の振り向きさま

はつちやきだ！――！

赤いマークのじゅしゅ (後書き)

なし

吹奏樂部定演～祝40話～（前書き）

なし

はて、どうして
どんぐりがわかつたのか

どんぐりに尋ねると

何度もか休憩があつて携帯をいじつていたら

何度もかその女性ののような人を見かけたそうだ

よくもまあ、広い会場を
何人いたんだろう
探したんだろうな
向こうとしても
ラリアットくらつてどうなつたか
心配だつたんだろうし

そして次に
風と共に去りぬを懸命に
思い出す

そういうや

高3の夏。

無理矢理買わされた

吹奏楽部の定期演奏のチケット

確か

パンフの表紙がそれのぱくりじゃなかつたか
思い出せない

困っている私を見て、どんぐり
携帯をいじって検索
オハラを出してくれる

あああの顔か
合点がいった

ヴィヴィアン・リーだ

そして

もしかして
湖畔の女性か閃いた
いわくを感じる

時計を見ると、7時とすこし
朝食は昨日と同じ場所

7時から8時半までとのこと

慌てて着替える

どんぐりは

シャワー室に行つてシャワーを浴びるとのこと
すまない、長い話につきあつてくれて

氣はすすまないが

食堂の夕食の窓辺の座席で

落ち合つことを約束 わかれる

吹奏楽部定演～祝40話～（後書き）

なし

風と井のわづな（龍書院）

なし

風と共に去りぬ

どんぐりが出て行った後
急速に行くのがめんどくさくなる

逃げているのか

7時半になつたが行く氣がおこらない

遅かれ早かれ。
遅かれ早かれ。

つぶやくようにして部屋を出る

食堂を待つ列が続いている

10分待ちか

座席などないだらう

部屋に戻ろうとぐるっと回れ右したところ
突然。

後ろ手に襟をつかまれ
食堂に引っ張つていかかる

ちらつと見えた

色は違うが、ミニーのしゅしゅ
今日は縁だ。

殺氣だつた様子に。

何事という感じで長い列が脇によけられる

そのまま窓辺の座席に

どんぐりが恐縮している
問い合わせられていたのだろう
シャワーを浴びてさっぱりしたのに

申し訳ない、片手で拭む

やはり、はつちゅあきだ

そしていきなり
「謝れ」と言つ

なんのことか

続けて

「ストーカー」

と言つ

単語のみでしゃべるので
よくわからぬ

見れば

ああ、湖畔の女性がいた

なんでわたしがストーカーなのか

聞けばバスの窓から私をずっと見ていたとのこと

自由さにすがすがすしさを感じていた
と思っていたが

殺氣を感じていたか

確かに

遅刻はする、怪しい風体だ
つるまない

最後部で一人きり

あやしい

怖がるのも無理はない

いつも「」と「」をこねます。

風と共に去りぬ（後書き）

なし

なし

小心者の一市民

いきなり話が重くなるのも

なんなんので

縁がきれいで、空氣がうまいですねえ。

タバコもうまいですよ。

あはははああ。

と、のたまう。

タバコを出して

吸おうとしたが

もひらひらん灰皿はない。

自分のキャラと全く逆。

入学式チャラ男系をしてみたが
逆にひかれた。

どんびき。

まあ、そりやそうだ。

「何でラリアットしたんだ。」

いきなり核心にふれた。

思い切って尋ねてみる

「痛かつたぞう。」ややおとぼけも加え
顔もしかめてみる。

無言。

相当悪いことをしたのか私。

小心者の一市民なのですが・・・

オハラがしゃべり出す

「なぜ、私を見ていたのですか？」

どきりとするが

正直に話す。

輪にそまらず

ベンチで座つていてすごいと思ったこと

誰にも声をかけられなくとも動じないことに

すがすがしさを感じたこと

誰かとつるんでいなといけない学生生活

うわべだけの友だち

本音のない関係

自分は疲れていたと伝える

そこに

一人を楽しんでいるのが伝わり

すごいと感心した

自分にはできないと思つたこと

彼女は心が強く、芯があると思ったことを話す。

オハラが語り出す

「実は私、いじめに遭つていたんです。」

なし

なし

//ミッション系の高校

彼女は、
父、母とともに
フランスに住んでいた。
父は、
一時期名を馳せた
世界的に有名な証券会社に勤務し
ロンドンに継ぐ、ヨーロッパの
皆としてその仕事は多忙を極めていた
そんな多忙な会社に嫌気がさし
会社が無くなる前に
父が転職したのは
先見の明があつたとしかいえない
母は日本人で
何年もの外国暮らしへひどく
日本に帰りたかったこともあつたらしい
こうして家族は
彼女が高校2年生の初秋
日本に来た
彼女にとつて
里帰りで何度も日本を訪れていたが
暮らすのは初めての土地であつた

父は、その温厚な人柄と

人脈の広さで

すぐ横浜の貿易会社に勤めることになった
友人がいて一緒に働くかないと
誘つてくれた事が大きかつたらしい

父は素振りは見せなかつたが
母のためとはいえ、

後先考えずに会社をやめたので
今後の人生に一抹の不安も

あつたらしい

フランス人らしくない
保守的な考え方もある

友人の貿易会社は

小さいながらも家族的な雰囲気で
やめた会社と比較しても
しううがないが

そこがひどく氣にいつたらしい
今も、フランスと日本を行つたり来たりしながら
仕事を手伝つてゐるそうだ

さて、母は

日本に戻つても相変わらず

専業主婦で

優しく、夫と娘を見守つていた

母が一番心配したのは

娘の教育で

とかく日本は帰国子女に冷たい

ことを彼女は

長年の外国暮らしで知り得ており

日本の役所の

縦割りでもあり

建前主義でもある

ところも

彼女自身の手続きとつてもみても
十分おつりがくるくらい
身にしみてわかつていた

そして

実際のところ

子女には日本はあたたかく
なかつた

やはり

先を見越して
小さい頃から

日本語を丁寧に教え

読み書きを特訓していたが

この日に備えてきた

甲斐があつたと思う

また、フランスで通っていた高校も
よかつた

それは日本のいくつかの
ミッション系の学校と
姉妹校を結んでいたからだ

ほどなく

F女子大付属の高校に
編入することができた

繰り返すが彼女が

高校2年の初秋9月であった

なし

なし

野バラ

街としては
大きすぎ
高層の建物が多いが
そこはかつて
避暑でよく何週間も滞在した
ニースに似ていた

坂や意外に多い縁が
そういうわせたのか
しれない

坂をのぼると
教会が見える

わざわざ

出迎えてくれた理事長は
まさにシスターであり
フランスから
異国之地
日本に来た
彼女に優しかった

学校は伝統ある
お嬢様学校であった
その進学先は有名な
Tをはじめ、K、A、J大など
幅広かつた

普通科2年に編入され
彼女の新たな高校生活がスタートした

さすがに何回も

外国からの

転入生がきており

珍しくないのか

帰国子女のオハラは

すぐに

とけ込むことができた

が

やはり母仕込みの

ジャパニーズが

ものをいつたらしい

まわりを取り巻く友人は
一様にフランスでの生活を

聞きたがつた

彼女はきわめて

丁寧にかつ親切に一人一人に
応対した

全くえらぶるところはなかった

夏の入道雲 猛暑がさり

残暑とよばれる暑さが

続き

季節は秋になろうとしていた

その日

いつもどおりに

彼女は登校した

残暑ながらも

過ごしやすい季節になってきた

朝、いつものように
グッドモーニングと
言つて教室に入室する
が

その日に限つて
彼女の周りには
いつもの友だちはこない
軽い違和感を感じながらも
いつも通りに授業をうけた
しかし

休み時間は2、3人の子が
話に来てくれて
自分の心配は杞憂かと
思った

ところが朝は
次の日も同じであった
そして
休み時間は
誰も話しかけてこなくなつた
こちらから話にゆくと
なんとなくさけられている
感じがした

ある日の音楽の時間
わらべは〜みいたあり〜

のなかのばあらあ～

宝塚のよつな

かといつてどこか懐かしい

歌を歌い終え

みんなが教室を出ていつた後

オハラは女教師に

呼び止められた

音楽教師は若い臨時の先生で
外国での留学経験があるらしく
なぜかとても氣さくな女の先生だった
何度も彼女と話をしたことがあったが
呼び止められたのは
はじめてだった

彼女は誰もいなくなると

こう言った

「野バラよ」

「野バラには氣をつけなさい」

その事をつたえると

何事もなかつたよう

彼女は準備室に去つた

まだ

その意味が彼女にはわからなかつた

なし

なし

あいもかわらずの毎日だったが
オハラは学校に休まず登校した

そして

休みをはさんで次の週
オハラが転入してからずっと
空いていた席に人だかりが
できていた

いつものように

オハラが

転入してからずっと

欠かさずしてきた挨拶。

誰も返す者がいなくても

する挨拶

グッドモーニングと

言つて教室に入る

突然

その人だかりの中心の

小柄な女性が

オハラに駆け寄つてくる

グッドモーニング。

ニコッと笑う笑顔が

人なつっこい

オハラは思わず泣きそうになってしまった

何日ぶりに

挨拶をしてもらつたのだろう

思わずハグをする

その瞬間

教室の空気が
止まつた

その異様な雰囲気に
すぐに
ぴーんとくるものが
あつたらしい

髪の毛もまほさの彼女は

窓際に佇む一人の生徒に向かう
それは学級で
いつも上品で優雅な
感じを漂わせ
みんなが百合様と呼ぶ
女性であつた

また、おめえ
やつちよるのか。

一瞬なんの言葉だか
わからなかつた

百合様は

優雅に笑うだけであつた
なぜかその時だけは
取り巻きを感じた

場にそぐわない

爽やかなチャイムがなり
廊下のざわめきが聞こえる
担任が来るのであろう

百合様のまわりにできそつに

なつた輪が
自然にくずれる

しばらくすると

臨時音楽教師が入つてきた
何事だろつか

なし

なし

「はーい席について」

とても元氣がいい明るい女性だ

「あらっ、戻つてたのね。」

そういうて

例の助けてくれた女の子と

握手する

自然な感じだ

「おはよう。担任は急な出張で出かけてるので私が来ました」

あいかわらず明るい

担任の出張がこうもうれしい人もいるまい

何氣をよそおつて

窓側の百合様を見る

知らなかつた・・・

優雅であるはずの彼女が
ひどく憎々しい顔をしている

やはりそういう

くやしかつたのだろう

彼女が

俗に言う

裏ボスだつたのだろう

まったくわからなかつた

それにして
女教師の明るいこと
私の事をわかつて いるような
はしゃぎようだ
この人も道化だ

聞けば

ボーアイシュの彼女は
下町に長く続く花火師の家に生まれ
(あの界隈の元締めをしているらしい)
(元締めが何かはあとでマフィアと母に教わった)
そして、夏から秋の始めまで
全国を花火巡業し、帰ってきたらしい

もちろん高校には
大将自らお願ひにあがり。

シスターもその下町、江戸っ子魂に
フランスの友愛を重ね、
いたく氣にいつて いるらしい
また、休むことについても
後で、補習を受けることを理由に
2学期始めの2週間休むことを
許可しているらしい。

しかしながら

そんな彼女も男手一つで
育てられ
物心ついた時には・・・

お母さんは、体が弱く
亡くなってしまったそ�だ

まつたく

彼女と、

彼女の育つた環境は

ここでは正反対であるが

彼女のお母さんが

ここの出身ということ

彼女は自ら決心して

入学したらしい

おやじに言わせれば

死んだものに遠慮するこたがない

おまえはおまえなんだから

好きに生きるがよい

と何度も何度も諭したらしげが

父親譲りの

一度こうと決めたら

貫く性質

勝手に試験を受けて入学して
しまつたらしい

まあ彼女らしい

なし

なし

「ここまでオハラは一息に話す
はつちやきは
ぼりぼりと頭をかく
真面目に語りれすぎて
恥ずかしかったのか
飲み物を取りに行くと

一言

どんぐりを見れば
いつのまに
そんなに食べたのか
皿がつみあがつていた
私はまたポテトをすすめてくる

彼女の半世紀をみた心境

頑張つたと
声をかけたい
衝動にかられるが

会つてばかりの男に

そんなこと

とも考え

言葉を飲み込む

飲み込んだ言葉に詰まりながらも
どうしたらしいものか
氣まずい時間が過ぎる

こんな時こそ

氣のきいた事を言えばいいのに

どんぐり

ポテトを食べている

期待した私がばかだつた

どんだけ

ポテトが好きなんだ

周りを見ると

なんだかひどけがさびしい

時計を見ると8時45分

もうすぐ、学部」との

オリエンテーションが始まる時間だ。

聞けば、全員文学部とのこと

なんのことはない。

同じ穴の貉だ。

教育学部は、講堂で、

文学部は、昨日の体育館らしい。

どうせまた、

しけた学生課の見張り付き

だらうて

昼食時に会うこと約束する

心なしか

オハラがホツしているよつた感じもある
氣のせいか

誰にも言えなかつたことを

初対面にいつのも

なんだが

それだからこそ
ものもあるのか

まだ残るポテトに未練を残す
どんぐりを

追い立て

体育館に向かう

予想はしていたが
つまらない

なんでこんなつまらないのか

文学部がいかに素晴らしいかの
次から次への名だたる先生の

演説

本当にあぐびができるくらい

素晴らしい

思いつきり

伸びをしながら

あぐびをすると

よつしーーーの視線が痛い

完全にマークされているようだ

わしは問題児か
何もしとらん

どんぐりを見ると
深く考え込み
神妙にメモを取り
聞いている

あきれた

どんぐりも俗にまみれた。

まあ所詮、人の子。
一氣に軽蔑・・・

と

メモの手元を見る
おいおい
いつ用意したのか

よく見る

新聞朝刊の
「次の一手」の切り抜き
さらに白コピーデ

ほかの書類と区別がつかない
さすが

時間の使い方を知っている

ここまでやるとは

恐れ入った

まさにヒカルの暮。

なし

オリエンテーション（前書き）

なし

オリエンテーリング

苦行の時間は終了した。

午後は、 大自然を感じてほしい。
とのことで、 な・ぜ・か
オリエンテーリングをやるそう

オリエンテーリングとは、
敷地の中に
アルファベットの文字が
書かれた看板があり
それを探すこと
見つけずらい場所は
もちろん点数も高い

これは、 何人脱走するか。
「アトラス島からの脱出」
サンフランシスコ沖の島だ。
いつかロブスターを食べながら
見てみたい
を思い出した。

なかなか粹な計らいだ。
部屋で寝てるか。

さらに説明は続く。

4人のチームでやるそうだ

ますます

大自然の中で、学生課が
どのように監視に腕を發揮するのか
大いに期待するところだが
例によつて

背番号順か？

期待を裏切り

なんと

チームは自己申告制。

誰と組んでもかまわないと
スタートで申告すること。

そして、

ある程度の点数以上にいかないと
夕飯の食材がもらえないらしい。

えつ。

夕飯の食材。

夜は自炊か。

ここまできて、カレー作りとは
下手な臨海学校だ。

といふか

山だから臨山学校か。聞いたことがない。

それにも

なんちゅうゲームだ。

なになに

これで協調性、集団性、

体力、氣力、根性を見るのこと

体力、氣力、根性
どつかで聞いた台詞だが
まさか大学で試すとは

これで、急け度でも見るのか
それなら早々に白旗です

開始時間は1・3時半。

グランド集合だそつだ。

話だけで疲れてしまった。

込むといやなので、

どんぐりは食べる氣まんまんで

話終了とともに

食堂へ

さすが動けるテープは違つ。

さつそく、

ポテトをコーヒーを

どんぐりにお願いする。

さつき軽蔑しそうに
なっていたのに
持つべきものは
友だちだ。

にやつとしたといひへ

。あへへ いまひんじさう
せんせう

オリエンテーリング（後書き）

なし

なし

第一関門 草食系

満面の笑顔ではつむりやせ。

開口一番。

一緒に組もうか。

やはり、そこか。

グランジの申告だけ居て
あとはバックれるか。

素早く脳裏にずるい考えがよぎる。

それにもしても

ここまで落ちぶれたか。

そつとオハラの顔色をうかがう

はつちやきにまかせれば

大丈夫という

顔をしている

信頼関係はあつねつだ。

それにもしても、

学生課も考えたものだ、

4人チームができるかどうかで

すでに第一関門。

この昼食時間が鍵となる。

男女混合チームとする」と、
など

しけたお題をだされなくてよかったです。

まあ、断るのも

おつだが

じこじま、騙されてやるつ。

騙されるのも時間の問題か・・・

後は、氣のいい

どんぐりがうまくやつてくれるだるつ。

本当にマラソンが役に立つた、

後で周辺の地理を聞こづ。

なんだかウキウキする自分が怖い。

今日は食べれそうな氣がする。

そして、もしや

夜が食べれないかもしないので
しつかり昼食を食べることにする。

メニューは、

とこりかバイキングなので

自分で選んで

といふか

並んでいない場所のみ。

シチューとパン。

唐揚げ。

おこちやまか。

といふか、夜カレーなのにシチューを
とるあなたはいったい。

しかしながら、シチューの中にクレソンの
細かいのが入つていておいしい。

パンも自家製のようだ。

なかなかやるな、B大。

どんぐりもおかわりするわけだ。

いつのまにか、
うちらのテーブルに、はちやきと
当然のようにオハラがいる。

朝の事は何だつたんだろ'つ。
わしはストーカーかい。
容疑は晴れたのか？？？

他のテーブルは、ナンパ合戦か。
少ない男子に女子からのお誘い。
アタックが集中。
うちらは先約すみ。
売約済みか。

草食系。

もとい、がつつい女子か。

それにしても氣の弱そうな男子が多い。
入学式のはつちやき系はあまり見あたらない。

性格テストで、学部を半々にわけたか。
学生課ならやつそうだ。

みんなで食べ

私も食べているので

どんぐりは特に機嫌がいい。

食事は大勢で食べるのがいいね
と喜んでいる。

そんなに食べて大丈夫かといつぐら
い ポテトに大盛り

私にも食べるか聞いてくる。
みていいだけでお腹いっぱい

さらに、かいがいしく

コーヒー やお茶を運んでくる
いがいにはつちやきは
日本茶派のようだ

みんなで安堵したといひで

じやあ着替えてくるわ。

と

言い残し

女子一人は去つていった

といひか

うちらと組むかどつかのこちらから
返事はしていない・・・
恐るべし女子パワー。

さらにいぢりして

着替える必要があるのか

そのままで

いいのに・・・
理解に苦しむ。

どんぐりに聞くと
いろいろあるんじゃないの
とのこと

何がいろいろなのか。

そんなこんなでうちも部屋で
横になるべく戻る

おやじかい。

なし

山ガールズ やつたね 祝 50話（前書き）

なし

山ガールズ やつたね 祝 50話

誰かに激しく起こされる。

横になつたら眠つてしまつた。

どんぐりさすがだ。

まあ、このまま眠りについても
よかつたが・・・

高3の時、

パチンコの田のお楽しみ抽選会で
もらつたやくざな金時計をみる
もちろん金メッキ。

あらり

時間があと5分しかない。

それより、どんぐり
なんちゅう、格好だ。

ジヨギング、マラソンではなく。
それは、アウトドアか、
そのポケットがいっぱいのベストは何。

釣りのライフジャケットのようだ。

本人は、そのポケットの道具を
解説したいらしいが
時間を理由にバスをした。

まあ、はつちやきあたりに説明すれば彼も満足だろう。

さすが、どんぐり

裏出口から出る。

見れば、グランドは宿舎斜面を下つたすぐだ。

それにも

山の中腹だけあって斜度がきつい。

人が蟻のように群がっている。
あの白いてんどうが受付か。

みれば、何組かの人だかりは、森の方に向かっている。

13時30分になつたか。
裏口を通らなかつたらもつと時間がかかつたことだろう。
どんぐりに感謝だ。

あのベストはいただけないが・・

それにしてもすごい人だ。
オハラを見つけるか。
またまた例の虫が騒ぎ出す。
どうする。やめるか。
急速にめんどくなつた。

他の女子もこちらを見てそわそわしている。
まだ、メンバーを見つけられないのか。
なぜ、男子を誘う。

近くを突然。

大音量で

「ジドファーザーのテーマが。

驚く。

携帯か。

どんぐり、なんちゅう着信音よ。

あんたはマフィアか。

イタリアか。シチリアか。

そんなことおかまいなく。

もしもし、ああこいつちこいつと
手を振つている。

おこおいどんぐり

いつの間に

はつかけきと

番号交換したの？

よくわからない。

「おやい」

はつかけきの一言。

この人はしゃべらないが重みがある。

服を見て驚いた。

そんな服があるんだね。

スカートみたいな
ジャージをはいている。

どんぐり曰く、山ガールズらしい。
それは、何。何かのグループ。

ぽかんとしている

笑いながらはつちゃきが、
山に上るのがはやつてるんだよ。
と、ばかにしたように言つ。
褒めてもらいたかったのか。
理解に苦しむ。

こつちだつて、釣りのベストだぞ。
と言いたかつたが

そこはいじらないらしい。

オハラも、スポーツ系のジャージだ。
ウインドブレーカーも
爽やかな感じ。
スタイルがいいのによく似合つ。

少しひきまきした。

学生課に受付に行く。

あらかた出発したらしい。

よつしーーがいる。

言葉は出さないが、
よく相方見つけたな。

チエツ。第一関門クリアかよ。

という態度。

わかりやすい。

地図をもらつて森に向かう。

新緑の芽。そして、日差しがまぶしい。

気持ちがいい。

思わず笑みがこぼれる。

それを見てオハラも微笑む。
なんですよ。

地図を真剣にみながら
どんぐり

さつそく七つ道具の登場。
すごい。

コンパスを持つている。

ブルーの長方形の青い枠の中に
方位磁針が入つていて
道具はセンスいいね。

といふか初步的に
コンパスなしで
山に行かせるのか

鬼だ

遭難者出るぞ

地図には確かに北を指す
矢印が書いてある
これはもうったか。

山ガールズ やつたね 祝 50話（後書き）

なし

ゴール目前（前書き）

なし

といひが、歩き始めて
しばらくして
はつひやきが何か騒ぎ出す

どんぐりの道が違うと囁く
私はどっちの言い分が正しいかわからぬ
どんぐりは自分は正しいと囁いてゆずらない
どんぐりが正しいのか

そこで一言

あそこで休みましょう
オハラが東屋を指さす
おお、あんなところに
はやくも仲間割れ。
万事休す。
いや休憩か。

まあ、ひとまず休んでから考えることにして
休憩することにする。
はつひやきとどんぐりが持論を戦わせてくる。
ゆつくり、ベンチに横になる。
ふと天井を見る

何かつり下がつている。
赤と白で半分ずつ。

もしかして

あつたああああ。

我ながら恥ずかしいくらい大きな声を
出してしまった。

みんなビックリする。

周りに他のチームがいなくてよかつた。

みんなも私の発見を喜んでくれる。
オハラは、うれしそうに
私の両手を握つて上下に振つている。
思わず私もやつている。

何だこの距離感は。

その後、空氣は変わり。

どんぐり、はつときは和解し
仲介としてオハラを立てた
オハラは靈感があるのか

次々、ある程度近くの場所までいざなつてくれる

さらに、あんたはスパイかどんぐり。

時々、山の中で大音量の「ゴッドファーザー」が鳴る。
携帯が通じるんだね。（やるな A B）

すぐに他の男子チームと連絡を取り合つて情報交換。
本当にどんぐりは素晴らしい。
どんぐりが情報をしいれて
提供する。

なんでも、全問正解は、高級な肉らしい。

なんで肉なのか。

家らは野獸か。草食系はどうした。
本当にわかりやすい学生課だ。

さらに、オハラやはつちやきも
私は積極的に行かないことを見越して
通りすがり班の女子と全面協力。

どの班も夕飯がかかっているので必死だ。

この時点で、学生課のねらいは達成されたと
言えよ。

よくやつた学生課。

くやしいが、よっしーー。

もちろん、あなたの考え方でないと思われるが。
みんな一致団結してるよ。

麗しき隣人愛だよ。

その後も、森を抜け、丘を越え、
ちょっとした山を登り、

ちょっととした山では、オハラに手も差し伸べて
あげました。

自然にできた自分が怖い。

そして、

どんぐりのベストはドリームの
ポケットのようにいろいろできて

15時くらいには

携行食と言つて

カロリー メイトや飴が出た。
遭難しても野宿できそうな勢い。
本当にしたらいやだけど。

なんやかんやで
15時少し過ぎには
だいたいのところをまわり
後は「ゴール」という時。

突然、それは起こつてしまつた。

ゴール目前（後書き）

なし

ドクター ハリー (筆書き)

なし

先頭を行くべくべく

続いて歩く

はつひやき

私

オハラ。

「はつひやき、

もし

「^用くじ当たつたら何こつかう。」

しゃべり疲れて

私はそんな質問をした

オハラは意外に

あまりしゃべらず

聞いているのみ

会話は

常に私と

はつひやき

今までの会話の延長で

だれながら行く。

はつひやき

「ばつかじやない」と

笑いながら

振り返るつとじて

氣をとられ

そのまま足がもつれて

尻餅をつく

いたあああああああい。

悲鳴に近い

驚いてどんぐり

振り返る

見れば今まで歩いていた
何のことはない下り道

だが、大きな木の根が
道の中央をはしっていた
あまりのぐだらない質問に
力がぬけ

そこに足をとられたらしい

明るいはつちやきが黙り込む
懸命に大丈夫を繰り返すが

顔も青い

オハラがすぐに

駆け寄り

足を見る

友情が深い

まつたくだ

しようもない質問に
色をなくした

続いてどんぐり

冷静に

ピンクの線が何本もはいつた

ブランドの靴をぬがせ

靴下もぬがせて

足をさわって

痛みを探る

指でさわって

押してみる

はぢやきの顔が

苦痛でゆがむ

声を出さないとこうが

はつちやきらしげが

相当痛いのが分かる。

こりゃあ、ねんざか

うつむこう悪ければ

骨打つてるか

いかんせん

固定したほうがいいなど

つぶやくよう

どんぐり

経験があるのか

手慣れたもの

ちょっとしたドクター

まさに

辺境の地で

ドクター「トーカ。

(はい、今日のキーワードです)

なし

なし

2次遭難

どんぐり

すぐに

草むらに消え

手頃な木の枝を探してくる

そうして

ジャケットから

包帯を取り出す

本当に恐れ入ったの鬼子母神

こんなところでギャグも
しうもないが

なんでも出てくる
ないものはないのか

手早く包帯を巻き

固定する

聞けば

どんぐり

救急救命の講習をつけたとのこと

誰にでも

簡単に止血や人工呼吸の方法を

消防署の人

教えてくれるらしい

その証の

黄色のカードをちらつかせる

まぶしいぜ

旦那

あんたはなんでも
できるねえ

しかしながら

この後どうするか

一同黙り込む

「置いてけ」

相変わらず言葉が短い

そして重い

痛さで

うめくよう

はちやきが言つ

ここに置きやり

みんなで救助を

求めにいくか。

何か違う気がする

オハラ

私が助けを連れてくる

少し涙ぐんで

決死の覚悟だが

はちやきを

落ち着かせるよつて
慈愛に満ちた
やさしい言ひ方

だめだ

2次遭難のおそれがある

どんぐり

どんじた

れつせと違つて険しい言ひ方

とげをなくすよつて私

大丈夫だて

宿舎なんてすぐつしょ。

甘くみんな。

どんぐり

いつにもなして

吼える

そつやつて遭難は始まるとのこと

こいこは慣れたどんぐり

何を慣れているのか？

私で

救援をもとめにいく方向に

固まつた

何かが頭の中で鳴る。

何か違う。

なし

なし

女子を残していいのか。

時刻はもうすぐ16時。

春とはいえ、
夕刻は近い。

山ガールズとはいえ。
女子一人は軽装だ。

「これは男が護るべきなのか。

くだらないギャグの手前
私が残ることを
提案する。

どんぐり、
少し思案する
が
そうだな
それでいいつと
うなづく

どんぐり、オハラで
スタート方向に戻る

生きて帰れよ

手を軽くあげて
後ろを振り返らずに
どんぐりが行く
戦場に行く兵士のようだ
頼もしい背中が
縁に消えていく

頭上でからすが泣いている
その悲しそうな鳴き声に
夕方が近いことを知る

静けさがあたりを包む

「寒くないか」
はつちやきに聞く
「寒くない」と答えるが
腰に巻いていた
ウインドブレーカーを
肩にかけてやる

「ありがとう」
めずらしく素直だ。

突然

「昨日はごめん」
はつちやきが謝る
何のことかめんくらう。

どうかラリアットか。

すっかり忘れていた。
まあどうでもいい。

それより足の捻挫か?
そちらの方が心配だ。
痛まないか聞く。

まあ、痛いだろうが。

「話したいことがある」
改まつてはつちやきが言つ。
なんだ告白か。
動搖を隠して
「金ならないぞ」
といきがる。

なし

なし

因縁の対決

実はオハラの事なんだけど
はちやきが話し出す。

なんだそっちか
安心するのか
どぎまきするのか
自分でも
わけがわからん

語り出した内容は
高校でのいじめのことであつた
やはり、正義感の強いはちやき
百合様が許せなかつたらしい。

わーらーべーは
みーたーりー

表の顔と裏の顔
そこを
たちどじるに
見抜く
臨時音楽教師
やるな。

K G B が、 M I 5 が。

そして

因縁の対決に。

やるかやられるかになつたそつだ。

オハラがはじまりの
はずが

因縁対決に巻き込まれて
本当に悪かつたと
はちゃきは、言つ。

例えば、と

ことわり

こんなことをされたんだと。

トイレで、上から水をかけられたり
さむい

そして、なんと古典的。

女子校、女子特有の陰湿さを
感じる

こわい。

トイレにもいけないのか

机の中の
教科書に

カッターの長い刃がはさまつていつたり
こわつ。

周りにも氣づかれずに
するんだろう

さらに複数関与で
連携プレーだ

しかしこたえたのは

挨拶だつたそつだ

はつちや きは

じいさん に 礼儀は
たたき込まれて いたから
しないと 気持ち悪い
また

がんらいの 負けず 嫌い
そんな事で 信念を
曲げる わけには ・・

そして オハラも

フランスは

一度会つたら 頭見知り

だから

ハグや 挨拶、あたりまえ

だから

つらかつたらしい ・・

さらに

高校に編入する時

絶対に

自分で 教室に入る時は

日本式に 挨拶すると

心に 決めて いたらしい

お母さんからの

日本になじむための

心からの

アドバイスでも あつた ようだ
だから

やめることが

敗北と思いつめていたらしく
また、母を裏切ることになると

もうりん

お母さんは、

いじめのことを

知らない

シスターの振る舞いや

名門に

安心してこらのだろう

お母さん

日本はそんなに平和で

ないですよ

学校なんて

いろいろが渦巻いて

かえつて

ややこしい

閉鎖感、閉塞感を感じます

なし

ヒガーンゲリイオノ（前書き）

なし

エヴァンゲリイオン

今さらながら
まあ、大学に入学して
よかつたか
自由だ
付属からうちにも
相當ながれてきている
らしいが
数が数だけに
分母だよな
濃度が薄まっているだろう
なんだか
中学理科の問題か
濃度も苦戦した
しかしながら
本当にきたないいじめの
エトセトラ。

がつかりの反面
よくここまでこれた

話を聞けば聞くほど
感じました

そしてまだまだ
子どもが子どもなら
親も親

百合様の父は

泣く子も黙る

市の市議会議員様

噂によると陰のボス

当選歴十数回

市議会議長も歴任らしい

そして

学園にも相当

寄付を積んでいるらしい

表の顔と裏の顔

それはそれは学園も
ちょっとやそつとでは

手をだせない

完全なバリア

まさに

エヴァンゲリイオン
のエーティーフィールド。

碇シンジも

真っ青だ。

強力だ。

強い。強すぎる。

すみません。

3日ほど旅行に出るため
小説を休みます。

ヒュアンゲリイオン（後書き）

なし

冷たい手（前書き）

なし

冷たい手

お待たせしました。
この世に戻つてきました。

百合様のお父さんの話

権力は
あればいいのか
一つ取ると
次もとりたいのか
そんな中
わりを食うのは
やはり一般市民
世の中の多くの人は普通です

泣くに泣けず
なきにしまる

大阪市

さてさて
話を戻そう

はちゃきも
誰かに
伝えたかったんだろうね
この危機的な状況で

やはり人間

危機的だと

最後に

これを託したかった

言いたかった

伝えたかった

それが

あるのだろうか

空を仰ぐ

夕闇が濃くなつてきましたようだ

だめだこのままでは

はつちゃやきを

おぶつて

行こうか

でも

迷うんではないか

二次遭難

どんぐりも

「絶対動くな。」と

言つていた

30分は経つただろうか

足音は全く聞こえない

氣配もない

寒くなかろうか

はつちやきの手を握る

はつちやつきがビクッとした

冷たい

足はどうか
さわってみる
やはりまだ痛いらしい
少しはれている感じもする

冷たい手を

包んであげた
少しは温かいし
誰かに側にいてもらひつと
安心するだらう

手を握つたら

はつちやき

静かになつた
泣いているのか

それから沈黙が

続いた

私から

何か話をしようつと

思つたが

全く

浮かばない

冷たい手（後書き）

なし

なし

ターミネーター

眠れない時のように
数でも数えようか

そうはつちゃきに
言つたら
急に笑い出した
おかしなやつだ
そんなにおもしろいか

私もなんだかおかしくなつて
笑つてみた

大きな声で
笑つてみた
二人の声が
暗い森に吸い込まれていく
しかし
なんだかすつきりした

人間大きな声を
出したり
思いつきり笑つたりすると
若返るつて
前に聞いたな
人間の原点に
戻れるのだろう

突然。。。

本当に突然。。

遠くから懐中電灯の
灯りが

声も聞こえる

何人かいるようだ

やつたあ

助けが来た

本当にうれしい

思わず涙が出た

男のくせに

なんばしちょっと

泣くんでない

天国の

大好きだつた

時々私に渴を入れる
ばあちゃんの声が
聞こえるようだ

はつちやきも

本当に安心したのか
力がぬけたようだ

のつペり顔の

なんだか印象に残らない

男が先導だ

年齢不詳

いや若いのか

どうやら

施設の管理人らしい

後ろに続くものたちも
同じく印象に残らない顔だ
たんかを持つてきている

そしてどんぐりが
いる

戻つてきてくれたんだ

私が氣づくと

ニコッと笑つて

アイル ビー バック

親指を立てる

あんたはターミネーターかい

というか

シユワちゃんかい

こないだ

けがして7針縫つたぜ

つつこみどいろ

満載だ

そこで

氣がぬけた

ターミネーター（後書き）

なし

たんか（前書き）

なし

なんか

「ちらりも助けなきゃ
俺が護るという
意識が働いたか

はつちやきこ

かがんで

施設の無表情が

足を見る

どんぐりと

同じ事をしている

さすがどんぐり

医者ではないが
何度もこの種目で
けがをした人を
みてきたのだろう

重い顔をして

一言

大丈夫

ただのねんざです

おいおい

重い顔をするなよ

びびるぜ

つていうか

これがいつも顔ですって

ぐつたりしながら

はつちや きを

そおつと

たんかにのせる

私が後ろを持とうと

したら

職員その2

職員その3が

これは私たちの仕事です

そういうて

素晴らしい息のあつた連携

プレーで

静かに

しかしながら

早足で

運んでいく

ひよいひよいと

川の飛び石を渡るような

軽快さだ

さすが

山慣れしている

5分くらいしただろうか

突然

目の前が急にひらける

なんのことはない

森を少し行けば
すぐに
グランドだったのだ
スタートした時の道とは
反対に出たが

おいおいおい
どんぐりを
見る

どんぐり
いやあーうちらも
迷ったんだよ
頭をかく
あらぬ方を向く
嘘がわかりやすい人だ
どこ、見てんだよ

二人つきりにする
作戦だったのか
よくわからん
どんぐりは

たんか（後書き）

なし

祝 60話 映画のハベストシーン（前編）

なし

祝 60話 映画のラストシーン

はるか向ひつの

グランドに

遠くで

一人佇む人がいる

背が高く

すらりとしている

オハラだ

うちらの姿を

見て

すこく大きく

手を振る

何度も何度も手を振る

本当に一生懸命

手を振っている

泣いているんじゃないかな

だいぶ近づいたら

オハラが向こうから

駆けだしてきた

そんなに急いで

転ぶなよ

すごい勢いだ

息せききつて

やつてきた

大丈夫

はつちやきのたんかに
駆け寄る

はつちやき

ニコッと笑つて

大丈夫

オハラも

力がぬけたようだ
肩でわかつた

私の方を見る

よかつた

目でそう合図していくよつだ

何もしゃべらない

でもその目に

きらりと光るもののが

あつたのは

見間違いだつたか

たんかと並行して

歩きながら

はちやきに

言葉をかけている

そのまま医務室に

行くらしい

明るいところで

もう一度みてみるそ�だ

よかつた

あとは二人にませよう

どんぐりと並んで

見送る

いいムードだ

よくある映画の最後のシーン

ここで

主人公は

いつもかつこいい
氣のきつたことを
ぼそつと言うんだ

おれもなんか

どんぐりに言つてやううと

考える

しばし沈黙

俺が言おうとする

そこへ

先に口をはさむ

どんぐり一言

メシだ

ムードもなにも
あつたもんじやない

がつかりだ

私の落胆にかまわず
どんぐり
宿舎と反対の方に
歩き出す

ビレーブ行へのだ

祝 60話 映画のハーストシーン（後書き）

なし

「一歩一歩、少しずつ前に進む」

なし

「一歩」 フードファイター こよによ駆走です

スタッフ黙つて足早に

歩く

遠くで

ざわめきが聞こえる
なんかがやがやと
みんなが集つて
そして、明るい
火をたいているのか

そうか

カレーか

ラリーの景品は
カレーだもんな

でもうすらほ・・

騒ぎで

作つてない

食べれるのか

どんどん

どんどんはかまわす

先に行く

学生課のヨッシーのところだ

一直線に向かう
迷惑をかけたので
仁義を切るのか
あやまりに出頭か

そして

また大目玉か
クラクラする

ヨッシーの目の前には
火が燃えている
そんなに燃やして
大丈夫かという
ぐらい
燃えている
熱いぜ

そしてそこには

大鍋が
ぐつぐつと
カレーが煮えたぎつている

ヨッシーの心の中なのか

一言
食べ

そう言って

ご飯の大盛りを
渡してくる

後は自分でカレーを
よそえということか

渡すと何も言わずに去る

いい奴なのか

謎が多い

どんぐりも
裏で手を打つていたのか

心得ている

まさに情報部員

いや

諜報部員

それにしても

食べ物の恨みはこわいからな

どんぐり

よそうやいなや

がつがつ

一言もしゃべらずに食べる
すごい

圧倒される

相当腹がへつっていたのだろう

その様子を見て

私も食べなきやと

思う

いつもは人が食べているので
お腹がいっぱいになるが

今日は

食べる

もりもり食べる

そうじないと

倒れてしまう

食べたら

はつちやきが

元気になるような氣がしたからか

なんだかしらないが

涙がてきた

涙はどんどん

出てくる

なぜ泣くんだけう

鼻水もてきた

でも食べる

無事でよかつた

生きててよかつた

どんぐりも

何も言わずに食べる

もくもくと

二人で競争しているようだ

フードファイターか

いつもなら無理と思うが

今日はなれそうな氣がした

遠くで歓声が聞こえる

誰かが炎に

食用油でも

かけたのだろう

ざわめきとは

対照的に

静かだ

星がきれいだ

こうして2日目は終わった

フードファイター こよこよ駆走です（後書き）

なし

リラショナルインポジタル（前略）

なし

//シションインポッシブル

はつちゅや きは
朝食にこなかつた

オハラも同じく
姿を見せない
どうしたのだろう

まったく情報がない

相変わらずポテト大盛りを
むしゃむしゃ
さらに皿をタワーのように
積み重ねている
どんぐりに聞く

むむ

・・・

珍しいことに
情報がないらしい

箱口令がしかれているのか

頑張れ

ミッションインポッシブルどんぐり
すごいぞ

今回、本家は

ドバイのタワーから飛び降りるらしいぞ

あおるが

まったく聞いていない

黙々と食べている。

他に左右されない

大物だ

大器晩成か

昨日の事件で

危機感から

体が反応

私もしつかり

朝食をとる

そういうや

早寝 早起き 朝ご飯

なんか大学の掲示板にあつたか

そこまで介入するか

よけいなお世話感

満 載

私もすんなり食べられる

きっと胃が大きくなつたんだろうつ

どんぐりが

満面の笑顔で

言う

なぜにやりと

笑う

フードファイター養成所か

わたしは
デブにはならん
安心しろ
皿は積み重ならない

ミッションインポッシブル（後書き）

なし

頑張れ タチヨウ俱乐部

さて今日の日程は
どうぐりに聞く

今日は3日目。

いよいよ

明日は本土に帰れる。
なんじゃそりゃあ。

どうぐり誰に言つてゐる

その後

どうぐり

くぐもつた顔で

今日がいよいよ出立つ。

なんだどうした
はつちやきたちか

急激悪化で

病院に搬送か

一抹の不安がよぎる

その後に

語り出した

どうぐり

なんのことはない

うちらの親分
教授との面会らしい

私が大笑いする
くつだらない。
上にへつらうな

大きな声で笑う

どんぐり

とても真面目な顔で一言

干されるよ

なんでも

どんぐり情報網によると
(以後MID)

(おいおい
略せばいいつもんじやないでしょ
(そしてMIDって何)
まあいつか

学生課は、IJKの合宿

第一弾の文学部を

40名ずつ

5クラスにわけ

11A

11B

11C

11D

11Eと

クラスわけしたらしい

らしいは私だけで

みんなは

くだらない

くそ長い

オリエンテーションで

しつこく

くどく

聞かされたらしい

さらに

同じく教育学部も

らしい

頭は2か何かだけど

そこで

軽く

リアクション

おいおい

聞いてないよ

ふりもしてしまった

ダチョウ俱乐部か

(というかダチョウ俱乐部

パンクの誰かと組んで

楽曲を作つたらしい

こないだ配信されてた)

(「聞いてないよ」

が

パンクになつてた

いがいにかつこよかつた

誰かバンド名教えてくれ)

誰に言つているんだあんたは

聞いてるのか

どんぐりが

怒つたように言つ

はいはいクラス分けまでは

そして今更ながら

私は

1-E。

おお、いいクラスだね。

自分のギャグに

我ながらうける。

わつはつあは。

つぼにはまつたか

自分で言つて

自分で大爆笑

笑いがとまらない。

おいおい

俺つてこんな

キャラだつたか

頑張れ ダチョウ俱楽部（後書き）

なし

し
た（前書き）

なし

し た

といづか

どんぐり

無

点

といづか
目が怖い

どんぐり
しゃべる

そ・れ・で

実は

みんな
同じクラス・な・の

なにが同じなのか

一瞬

ぽかんとするが

そ・う・か

クラスが一緒なのか

もしかして

前に聞いた

せつせつや せわ

オハラも

どんぐりも

すじい

まさに東洋の奇跡

ミラクルですねえ
ハイテクショーンで
長嶋監督の
マネをしてみた

どんぐり

本当に

心底

あきれている

さすがに

朝からこのトンショーンには
ついてこれないから

といつか

私はこんなに

テンション高くないぞ

どんぐり

どんぐり

たががはずれたか

遭難でおかしくなったか

誰だつてこの

テンション

ついてこれない

といづか

往年のギャグ特集に

なりつつある

した

の2億4千万の瞳より

(とんねるず)

たちが悪いか

どんぐり

本当に

厳しい声で

「あんた

干されるよ」

多分

冗談も

ほどほどに

と
言つてゐるのだから

が

どんぐりが

こんなに真面目に
なるのは
相当の理由か・・

し
た（後書き）

なし

なし

渋谷 キャッチャーズ

聞けば

合宿の悪のりで
教授に接した者が
連携網で
単位をことごとく
落とされ
留年
そして留年
さらに留年
もちろん
単位不足
それは必修のある教科

行く末は
泣きの一手で
復帰

というか何年かかるねん

長い大学人生に
なりそうだ

聞いて
がっかり
そこまで

権威を

見せたいのか

学生課の
ヨツシーに
言いたい
くらいだ

いやあいつは
ペーぺーだから
だめか

でもやつてくれそつな
氣もするけどなあ。

つていうか

言つて
私、すごいぞ。

ヨツシーを見直すとは。
昨日のカレー事件か。

男は黙つて△幌ビール

どんぐり一言

MID

先輩がそれやつて
就職落とされたらしい

笑うにわらえない

健さんを

ヨツシーに感じたんだけどね

ただそれだけです。

しかたない
どんぐりが

そこまで言つのなら

部屋で

休ます

きちんと出よつ

会場は、うちらの宿泊棟の
間の
カーペットがしいてある
合間のところらしい

おいおい

そんなに権威ある人に
合間で大丈夫なんかい

聞けば

そうは見せかけず
じゅうたんびきの

部屋で

ゆつたり感を出すらしい
親近感を

出すらしい

おいおい

就職氷河期の

学生の

本音を出せせる

会社の手口かい

もちろん

MUB

まちがい

MID

あるいは
渋谷とかの
キャッシュセールスかい
こわいね

なし

なし

食を食べてから
歯をみがき
ちょっと
フォーマルな服を
選び
着替える
といつても
サマーセーターの
よつなもの
若干
緊張氣味で
会間に向かう
珍しく
といふか
初めて
5分前行動
大学に入つて初めてか
11-Eは
40人いるらしいが
まだ
20人くらいしか
来ていない
本当に

40人もくるのか

というのか

入るのか

まあ、吹き抜けの

ちょっとした

ホールなので

収容できそうな

氣もしないでもない

部屋の片隅に

将棋とか

オセロとかあり

やる氣感ゼロの空間

さうじ

出窓のよくなといひに

いくつかの

レトロなものが

飾つてある

大学倉庫から持つてきたのか

置き場所がなかつたのか

捨てたかつたのか

昔のラジオがある。

でかい

そして

たぶん

インテリアにしようと

思つたんだろう

蓄音機がある

これで

何か聞けないか

クラッシックを

聞けたら

落ち着くし

いいムードになるのでは・・・

もう一つ

謎の物体

なんだ

レバーがある

ぐるぐる回す取っ手がある

なんだなんだ

まわしてみる

なんだこりゃあ

私の背後に

突然登場どんぐり

ぼそりと

計算機

えええええ。

ざぶとん一枚。

(といふか背後でぼそり
こわーーーい)

お宝鑑定団だ

もとい

出張お宝鑑定団EN

宿泊所

大学の良いアピールになるであろう

これこそ

ヨツシーに教えてやりたい
けつつつ。

とか言われそうだ。

さて

先ほどから人数は増えたが
30名弱か

なにやら

取り巻きを連れて
誰かがやつてくる

なんだなんだ

あいつらは
どこのドイツだ

息巻く

なんと

学生ではないか
なにやつてんの

あんたら

相手は

そんなんに有名人なのか
というか

ゴマをす正在いるのか
媚びをうつて正在のか

学生の風上にもおけないやつらだ

なし

なし

取り巻きが
さあつと
離れて
行儀良く
教授の前に
レビュー・シートーか

他の学生もつられて
なんとなく
教授の前に集まり座る
ざつとりそらひむねど

そこへ

「遅れてすいません」

若い声が上からふつってきた
吹き抜けの上の方が
連絡通路で

じゅうたんの畳間へ下がる
階段をみれば

なんと

はつちやきとオハラ

じゅうたんの階段を
ゆっくりと
はつちやきは
松葉杖だ
オハラが支える

まだ捻挫が痛むのか

教授は

遅れ2名いるが

相手がけが人なので

騎士道精神か

弱者保護か

怒りもせず

かえつて

椅子を用意してあげる

ほど

むむ

怪しい情報で先入観か

わからない

やつと落ち着いたか

教授おもむろに

「もんかから、きたんだけどね」

何を言つているんだ

言葉がわからない

門か

どこの門だ

家の入り口のことだろ

すごい顔でどんぐり

私の足ももをつねつていて

いてええよ

声がない
結果的にでなくじよかつた。
おしつりからもね。

どんぐり

表情を変えず
こちらを向かずに
「文部科学省」

と小さな声

口が開いていない

あんたは

いつこく堂か

尊敬する

なんでもできるな

紅白もでれるぞ

(ちなみに今年の紅白

K A R Aはかなり前から

当確まちがいないだつたらしい()

なんのこっちゃ

今度はゆつくり

さつきより口を開けず

「文部科学省の略」

スーパーさいあ人だ。

むむつ

気づかれたかと思いきや

教授

前の方から順に

何か配つていてる

「元のやつなんだけどね

新しいのまだなくて」

と断つている

なんだなんだ

うちらにも配られる

なんだ名刺か

ほんとだ

ちゃんと

文部科学省とある

ちなみに住所は

東京都千代田区霞が関

三丁目一一番地一号

文部科学省

むむ

泣く子も黙る

東大卒

しつけい

キャリア官僚か

無知な私もピンときた

なし

なし

さつきよつ長めの
いつこく堂どんぐり
「霞ヶ関のお方で
そうとう偉い。

うちの大学もはぐくを
つけるのと、

監督官庁の文科に
恩を売るのもあって
万々歳で受け入れてているらしい」

いつこく堂を聞きながら

教授を観察

紺の細いネクタイ
爽やかな髪型
柔道をやっていたのか
背が高く
肩幅がひろい
足下は
とがつた革靴
高そうだ

文学論について話している

語り口はキザだが
さすがに東大出のキャリアだけ
あって

講義の内容はなめらか

時々英語が混じる

曰く

キヤツチアップしないと・・・

・・・クリエイトに

そこをリフレクションして・・・

嫌みさはなく自然だ

経済界とも交流があつたのか

社長らの懇親会で

相手していたのか

ばんばん

東大、京大、ハーバード

マサチューセッツ

の論文がでる

マサチューセッツなんて

舌かみそうだ

よくすらりと言える

言い慣れているんだろう

まあ、しかしながら

これだけ嫌みをいいながら

私は自分で感心していた

まず、論文などの

中身を

私でさえイメージできるように
解説している

また、何分かにいっぺん
まわりと意見の交流をさせる

これは寝せないためか
と思つたが

本人曰く
考え方をどんどん
アウトプットをせるためだといつ
うううんそういうものか

名だたる社長相手もあり
お客様が満足して
帰つていただくよう
自分の
知名度をあげるためも
あるのか
ここまで
勘ぐり過ぎか

なし

人生の3大イベント

うーん

大学で何を学ぶか

私的人生とは

なんて

いろいろ考えたし

とても

悩んで

お金があるとか

ないとか

そんなことまで

悩んだけど

少し明確な指針ができた
氣がする

あくまでも氣だが

私をそのように
感じさせる

やはり

東大か

そこはすじいと思った

しかしながら

大学をやめようとか
いいかげんに

生きようと

考えていた

私にとつては

すごい運だよな

実は

私は宝くじにあたつたことも

ないし

懸賞もあまり当たらない

が

大学入試で

人生の運を

使い果たしかもしれない

なんてつたつて

スーザンボイルだもんな

そして

今回のクラス組みも
大学入試に付随した
運だったのかもしねない

しかしまあ

これはこれは

人生の3大メインイベント

進学 就職 結婚の

1つめが運かよ

つていうか

3大イベントつて

これでよかつたか

ということは

行く末は

無職で

結婚できな

男か

なんか最近

そんな番組やつてなかつたか

まあいつか

なんてことを
考えながら

ぼんやりしていると

文科の授業は
終わった

でもなんだか
よかつたか

終わった後に

急に男2人
女2人がでてきた
なんだなんだ

という間に
ここで

先生から

お時間をもらったので
今日のクラス発表に
相談をしたいと
思います。

いつぺんに
ざわざわしている

もしかして

さつきの取り巻きは

このことだったのか

まあまあ

にぎやかしの

めんめん

なんだろう

どんぐりに

尋ねる

そういうや

はじめの

オリエンテーションで

3日目に

キャンプファイアを

すると

言つておつた

と

ほざく

なんだそりやあ

(パート2)

なんでもまあ
大学に来て

まで

キャンプファイア

なんだろうね

その前の

文科の授業が

急に

吹き飛ぶ

いい授業だったのにね

とうわけで

相談なんだね

リンボーダンスか
チークダンスか
ダンス系が多いね

なにをうちらに
させる

恐怖におののく

実は
なんのことはない

うちらで
漫才やるので
みんなは
はやしてください——
とのこと

おいおい
あんたちは
よしもとか
お笑いか
なかなかすごいぞ

後は引くなよ

ということです
昼食になつた。

なし

スカイツリー

今日も今日とて

ポテト山盛り

IN 食堂

あんたも好きねえ

(かとちやんかい)

どんぐり

相変わらずの

すさまじい食欲

まさに、青春まったく中

高校生かい

席には

はつちやきと

オハラもいる

はつちやき

少し元氣がない

大丈夫か

足が痛むのか?

合間部屋は

椅子だつたが

座り疲れたのか?

大丈夫?

はちやきに聞く

まだ少し痛むんだけど

大丈夫

とのこと

はつちやきは我慢強いので

我慢しているのか

我慢はよくない

どんどん

アウトプットしなければ

みんなが笑う

意外によしもとの

才能ありか！！

単純だ。

オハラも私と

話して

少し明るくなつた

ような

氣がする

あくまでも

そしてどんどん

はらはらはら

ひたすら

食べた皿をタワーにし

積み上げている

今話題の

スカイツリーか

はたまた

バベルの塔か

必死の形相から

後者を選択

それにしても

いつたい何枚あるんだ

まさにびっくり日本新記録

むむむ

どこかで記憶が

前に見たことがある
聞いたことがある状態

カタカナ言葉で

何と言つたか?????

さてさて

女性陣

疲れたので休むとのこと

先に引き上げる

はつちやき

ガンをつけながら

一言

「ことわっておくけど

午後を

さぼるわけじゃないよ」

おおおお

こわいっす

しかしながら

元氣になつてゐたようだ

よかつたよかつた

笑いながら

はつちやき、オハラが去る

むねむね

なし

なし

超、松コース

チャイムは鳴らんが

午後の講座

さつきの場所で

シラバスの作成

文科はない

教授陣は東京に戻つたらしい

聞けば

うちらは運がよく

他のクラスは

50代のキーキー

ヒステリックおばちゃん先生

太りすぎでしょ

とつこみたくなる

よくアメリカとかに

多いよねこんな感じの人

容姿の事を言つたら

「セクハラ」と

訴えられそうだ

それですめばいいが・・

これで、宗教学

おいおい大丈夫か

祈れません

そして

出た

まったく理解できない

話の多い

何度も同じ話に

戻つてくる

ループ化

大学の名物教授

哲学系

おじいちゃん先生

70超えてんじゃないか

おいおい

退官はないのか

大学も楽にさせてやれよ

といふか

やめさせられないのか

そして

黙つていて

あまり

話をしない

40代 不自然な髪型

カツラか

地味なネクタイ

タバコが匂うイメージ

歯は黄色い

妙なイントネーション

そして声の高低

まああんたらでやんなさい

投げだし先生

などなど

似たりよつたり

大丈夫かうちの大学

いやはや

こうして見渡すと
うちらは大当たり
なんでしょうね

前者はまさに

強者

何回1年生の
担当教官やつているんだろう

という感じ

新入生には
こういった

「この教官でやめました」

「これで私は人生挫折しました」

みたいな

といったケースも
なきにしもあらずか

うちらは

松竹梅の

超、松コースか

ありがたやありがたや

おかげさま

Eクラスで

残り物にも福はある

さすがにEクラス

おいおい

吉本芸人の影響か

と

情報を分析している間に

シラバスはどんどん

すすむ

もちろん

どんどんのまる[与]し

とこうか

どんどんの情報網

(MHD)

やるなMHD

計算つくされた感じの

シラバス

完璧だ

こうして

どんどんマークシートが

埋まつていく

これでいやけを

さして

やめる者もいるんだろうな

マークシートには
未来はない
つか

カーペットに寝ころび

寝入るもの

天を仰ぐ者

関係ない話を

えんえんと

話す女子

なんでもあり

無法地帯

しかしながら

16時までには

学生課に出さないと

いけないのだが

まあうちらは

楽勝でしょう

なし

なし

グローバル時代

まだまだ
自由空間
カーペット
どこかの
コミケか
ネットカフェか
さあさあ
最後は
膝突き詰めて
外国語の選択だ
みんなで相談タイム
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語
などなど

複数選択。

2力国語とらないといけない
おいおい
日本語でも
怪しいのに
2力国語とは
まさに
グローバル時代
誰かさんの受け売り

ここだけは

みんなで話し合って

決める

まず英語

全員一致。

そして

オハラに敬意を

表して

フランス語に決める

オハラ以外はみんな

決めた

オハラも

みんなの話を聞いて

理解

英語は

英語A、英語B

リーディングとある

なんのことだらう

どんぐり
ぼそりと

「教科書を読むらしい」

おいおい

大学まで来て

高校の延長か
がっかり

というか

大学英語のイメージもないが

ちなみに

二年は

英語A 2 英語B 2

なんだよなんだよ

安易な

そして

また座学か

シラバスには

表現演習とある

外国人教授か

どんぐり

教授じゃ ないが

外国人指導助手が

つくらしい

英語は ほぼ

みんなとるらしく

定番だが

フランス語は

1年次から

駅前大学のような形で
少人数を目指すらしい

希望数による そうだが

つていうか

オハラにフランス語

習つた方がいいんぢやうか？

素朴な疑問を

話す

オハラ

一言

「ちゃんと

習いましょう」

続けて一言

「私も初心者の
つもりで臨みます」
身が引き締まる

大学教育が
始まるのだ

こうして

倫理学、法律学、法律概論、
経済学、地理学、史学、哲学、
環境、情報科学、書道、
芸術、美術史概論、自然科学、
英語、フランス語、体育
などおおむね
必修が決まつた

なし

なし

ドーハの悲劇

なんやかんやで
一番

困っていたシラバスは
あっけなく
終了した

1年次で

ほぼ
必修をおさえていたので

優等生的に

赤丸急上昇的に

OKだ

なんのこっちゃい

どんぐり曰く

2年生からのゼミ

特に3年次は

ゼミに集中でき

4年次は

就職活動に専念できるひじい

あんな

短時間で

自分の大学時代の

未来が決まるとは・・・

おどろき桃の木

山椒の木だ

まわりの

自由空間の壁さん

やはり

必修の選択で

まだまだまだ

悩んでいるようだ

天を仰いでいるものも

いる

おいおいサッカーのゴール後か
ドーハの悲劇か

そりやそうだ

こんだけ厚いシラバスで
どれとつて

いいのかわけがわからんなく
なるだろ？

まあまあ素晴らしいのは

マークシートで

単位修得が

ピピピと出で

単位もれがあつたら

後で

泣く子も黙る学生課が

親身にアドバイスするらしい

そういう意味では

いいけど

呼び出しも怖いかな・・・

そして

16時を前に

我らは終了した

予饌会

もとい

キャンプファイアは

お笑い芸人志望のめんめんが
頑張つてくれるそうなので

安心だ

それに

生き甲斐を感じる

人もいる

学級委員

じゃなかつた

学級幹事が

夕食後 19時

体育館酒豪

・・・

つぼ八かい

体育館集合とのこと

なし

なし

夕刻

む

んんんんん

なぜ体育館なのだ

外で盛大に

キャンプファイアーナのでは

出し物での

音響準備の関係

それから

火の後始末で

室内で

簡易キャンプファイアー

らしい

どんぐり曰く

大きな木の枝に

ろうそくをともす

らしい

なんだかよくわからんが

まあいつか

部屋に戻る

部屋中央の窓から

深い森と

山が見える

あいかわらず

大きな単山だ

あの頂上は

景色がいいのだろうな

ぼんやりとたたずみ

考える・・・・

部屋の電氣をつけていないので

よけい

夕闇を感じる

この薄暗さが好きだなあ

しばらぐ

その景色にみとれていると

どんぐりが

遅れてはいつてきた

手には缶コーヒーを持つていて

暗がりの中

ポイッと投げる

コントロールも

ばっちらりだ

温かい

どんぐりもしばらぐ

夕闇を見る

長いながらも

あつという間の

3日間であつた

なんだかこれで

もう大学生活が
終わりのような感じである

夕刻（後書き）

なし

ノスタルジック（前書き）

なし

ノスタルジック

どんぐりが

情報、情報と言つて

今日のファイヤーについて

話す

文学部のみで

教育学部は、第一体育館で

行うそうだ

(いくつ体育館あるんけ)

毎年

なかなか趣向が凝らされたものらしい

今後の文化祭などの

イニシアチブをとる

仕切りや家業の出現だそつだ

まあ

一般学生には

大学入学しての

発散なんだろうね

合宿の終わりとね

どんぐり

ひとしきり

話して黙る

夕暮れがつつむ

山の端に

夕日が沈んでいく

そうだよな
都会では
こんな風景
見れらないよな
なんだか
ノスタルジックな感じ

夕日が沈むのを
ながめながら

突然

どんぐりが話し出す

どんぐりは
親の反対を
押し切つて

今の大學生を受験したこと

ノスタルジック（後書き）

なし

マヌメトニア（前書き）

なし

どんぐりの

父親は

先ほどの

文科じゃないけど

キャリア官僚らしい

野暮なので

どこかは

聞かない

両親は

ぜひ

どんぐりにも

T大にすすんでほしかつたらしい

学力的にも

もちろん

どんぐりは

その実力は

十分兼ね備えていたそうだ

そりやそうだ

聞けば

家庭教師に

進学塾

そういう小さい頃から

勉強してきたらしい

私は大違い

小、中も

私ですら聞いたことの

ある

名門私立

高校は別な感じらしいが

しかし

どんぐりは

いとこのおじさんは

影響。

おじさんは
一匹オオカミのライターらしい

自分にはないものを持つている
おじさん

やはり人間

自分にないものを欲しくなるものか

マスメディアで

生きてみたい

そう考えたそうだ

親戚のつまみもの

おじさんは

うちの大学らしい

ただなんやかんや

いつても

報道、テレビ、出版関係には

うちほ

大きく力があるじしい

それは

今 4 年生が

連休明けに

証明してくれるだらう

いろいろな事を乗り越えて
どんぐりは

今 ここにいる

これからは
自由なのか

私はどうなのか

そんなことを考えながら

暮れゆく

夕日を見ていた

山の端に

夕日が

消えた

しーんとする

暗闇がつつむ

突然

パツと電氣がついた

「さあメシでもいこか」

どんぐりが

明るく言つ

なし

ズエク(繪畫也)

なし

こんな明るい
前向きな
ポジティブな
どんぐりは
初めてだ

素晴らしい

その前向きな
明るい声に
少し
感動

ウイーン少年合唱団が

よかつたね
本当に
パチパチ
パチンコには行きません

しかしながら
私みたいな
凡人が
感じない
相当つらい事が
あつたのだろう

良家の子息
・・・

天皇家の事も
週刊誌で
簡単に
話題にされている
昨今
昔は
そんなに
なかつたのに
世も末
日本人のモラルはないのか
年寄りの
冷や水と
お許しください
司馬遼太郎を見て
シリーズ
ぜひ
とはい
ご覧あれ
この時間は
終わつたか
NHK
日本人の氣概を
感じます

自分でも
留学で
よくわかります
余談でした

さてさて
パート2

過去を

他人に話すのは
つらいこと
本当だ

自分を乗り越えたのか

頑張つたどんぐり

その
30分後
またまた
タワー

よべやるよ

食欲は別か

執事にしてもらつて
いるのか

な・ぜ・か

私
に

またまた

コーヒーサービス

なんでサービスしてくれるの

本人は

いつもしてもらひうので

してみたい

らしい

そして・・・

どんぐりに

いれてもううと

なぜか

おいしい

作法があるのか

プロフェッショナル

NHKの番組みたいだ

(商社マンは感動した)

えらい

そんなに良家の
坊ちゃんなのに

入れ方がわかると

してみたいのか

幼児教育の分野か！－！－！－！

今更ながら
怒濤のよつに
3日間が思い出される

ありがとつ
どんぐり
いろいろ
してもらつて
ほんとうに

あなたがいなかつたら
私はどうなつていたか

いきなり

とこづか

もちろん座席の同じ
いつもの場所

はつちやせ

オハラも

涙ぐむ

なんだよなんだよ
はつちやせ
泣きすぎ
江戸つ子だね

はちやきに

圧倒されながらも

言わなくてはいけない台詞

改めて

自分で言つのもなんだが

ありがとうい

いや

ありがとうい やうい ま

なんだか

うれしい言葉です

今まで人に感謝していなかつた

人生だ

お茶も

流儀があるんだね

おいしい

お茶は

人を幸せにする

ありがとうだね

どんぐり

今までの自分が

馬鹿らしい

何をへつらつたのか

何を自分がないのか

くだらない自分
できない自分

馬鹿だね

どんぐりよつ

よつぽべ

自由なのに・・・

氣がつくと

はつちやきもつと

泣いている

オハラがもつともつと泣いている

馬鹿なんだね

アホなんだね

自分の限界が見えた

自分

もっと世界を見て
やろうとする人

違うね

どんぐりは
すごい

やつぱり

それが教育の違いか

格差を感じる反面

ありがたい自分も
いる

静かに頭を下げる

どんぐり。

ありがとうございます。
いやありがとうございます。

心の中で語つ

本当に

清々しい

神々しい

そんな

気持ちです

まあ

ということ

キャンプファイア

行ってみよう

テンションが高い

無理に高めたか

なし

パリマ（龍書モ）

なし

パリゴン

真つ暗な部屋

レディースアンドジェントルマン。

いよいよ

W大学の一一番を決める
メインイベントが
やってきました

静かなイントロ

後ろでは

パイレーツオブカリビアンの音楽

ジャックスパロー
と叫びたいところで

声が

本田の進行は――――――

司会の野太い男声が叫ぶ

も――んた――――
み――の――――

会場全体どよめく

すげえええええ

なんたつて

200名近く

着実な

学生

偽物

の

しかしがなら
落ち着いて
まさに想定内

顔は似てない

しかしながら想定内

そつくり万
少し動搖

出できたのは
さへへへす——が

白い煙

なんで

すげええええええ

まさか
まさかの

さすがW

声で
進行をすすめる

気がつくと

中央に

ろうそくの炎が
ギヤップ激しそぎ・・・

期待した

私がばかだつた

それにして
というか

レベルが高い

大丈夫なのか

1—E

不安がよぎる

マイケルジャクソンの曲が

POPの巨人

曲が流れ

そうかと
思うと

ちやらら

らつたら———

いきなりの

警戒音

なんだか

野球のインストロかと思われ

ゴジラのテーマ

チヤラ

モナリザ

「ジリ鷗」

ながながなが

登場

おいおい

お笑いもの おねがい单の ていちょう

まつこ「ジ」

似てるようで似ていな

音響か

続
1
て

もんたみの
つ―――
モー

曲

イントロで
流れる

バックの白い壁に
エッフェル塔が
凝つてる名ああああああ

おおおおおおお

フランス
フレンチ
ワイン
ぼんじょるの――

おまたせしましたああああ

ただいま
より

春
2011

Wコレクションを
始めます

と
同時に
花火
おいおい
外かい
誰もいないよ

す げ え え え え え え え

なし

なし

やつたね80話 パイレーツオブカリビアン

19時
時間だ
体育館は
真つ暗
静かに
パイレーツオブカリビアンの音楽
体育館正面の壁に
ジャック スパロウ
こと
ジョニー・デップの
スマイルが
映し出される
音楽がどんどん
盛り上がりしていく
デップが消えた
そして
レディースアンドジョンタルマン。
いよいよ
W大学の王者を決める
イベントが今年も
やってきました
どのクラスが

栄えある

優勝を手にするのか

まさに楽しみであります

高らかなイントロ

そして

本田の進行は――――――

みんなの注目を

集めるべく

一瞬ためる

そして

司会の野太い男声が叫ぶ

も――んた――
み――の――――

会場全体どよめく

すげええええ

なんだつてええ

200名近く

なし

すこいおせん78-79話誤記信ですか（前書き）

なし

すいません78
'79話誤配信です

体育館入り口から

白い煙

さへへへす――――か

まさかの
おもか

すげええええええ

出でたのは

そつくり万
もんたみの
皆、少し動搖
かなりがっかり

しかしながら想定内

私は

顔は似てない

みのさん

しかしながら

もんたみの 落ち着いて

想定内

の

偽物

といふか

大きく

学生に向けて

片手をあげ

ブーイングに答える

そして着実な

声で

進行をすすめる

氣がつくと

中央に

ろうそくの炎が
いつともされたのか
あるのかないのか
わからない

音楽との

ギャップが激しすぎ・・・

期待した

私がばかだつた

それにしても

こんなそんなど

大丈夫なのか

1—E

不安がよぎる

すいせん78・79話誤記信です（後書き）

なし

今度は別のページ（前書き）

なし

今度「JR」のパリコレ

配信まちがいをして
ご迷惑をおかけします
すいませんでした

81話の続きです

続いて

マイケルジャクソンの曲が
POPの巨人として
紹介され
曲が流れる

と思つと

ちゅ
ぢゅ

らつたら――――

いきなりの電子音

なんだ

野球のイントロ

かと思ひきや

ゴジラのテーマ

チャラ
ぢゅ

チャラ
ぢゅ

ちやつやああああ

「ジリ鳥を瓶

誰かが出てくる

なんだなんだ

またまた

そつくりさん

登場か

おいおい

お笑いものまね歌合戦

まつこ「ジリ」だああ

特にかつこうが似ているだけで
しゃべらない

おいおい

これだけか

似てるようで似ていな

みんな静かにひく

音響だのみも

つらいところ

続いて もんたみの

つーーーぞーーー

いつてみよ

ちょつとドリフ風
ふる

サントワマリーの
曲が
イントロで
流れる

バックの白い壁に
エッフェル塔が
映し出される
凝つてるな

おおおおおおおお

フランス
フレンチ

ワイン
ワイン
ぼんじょるの――――

絶叫系もんたさん

おまたせしましたああああ

ただいまより

2011春

Wコレクションを
始めます

おいおい

お笑いものまね歌合戦では・・・

と

同時に

簡易花火が

ステージの左右から

おいおい

大丈夫か

消防法に

ひつかからないか

アップテンポの曲とともに

中央ステージの

幕が開いた

おおお

こんな学生いたのか

まさに

モデル

なかなかやる

衣装も私服か

すげえなああ

今までが今まで
だつたので

なんとか

群衆一息ついて
見とれる

今度「JANのペッコ」（後書き）

なし

浴衣（前書き）

なし

浴衣

もちろん

そんなに

目立つた長身や

すごい美人は

いないが

みんな

クラスのために
頑張っている様子が
すごく伝わる
素人っぽいところが
いいのだろう

衣装で

工夫しているのは

ふわふわの

帯のひものようなもの

頭に巻いたり

腰に巻いたりして

アクセントをつけている

なんだろうね

あれは

はちやき

「あれは

浴衣のひもだぜ

さすが

はつちやき

よくわかるよな

男の俺らは全くわからん

ああそういうば

あれば浴衣のひも

そうだ

お祭りでしてたね

じょっし——

いやは
もしかして

持参?

計画的犯行か

エースをねらえ

もとい

優勝を狙っているのか

男子が少ない分
女子のパワーがすごい

浴衣（後書き）

なし

なし

ミスター

私の安易な発想
キャンプファイヤー
だから裸で
マサイ族

引くだらうね
どんびきでしょう

勘違い

アフリカの踊り
上半身裸で
ファイアーアーの周りを
まわる
木の枝などを
打ち鳴らす

怪しい怪しそう

女子が多い分

危険なギャンブル

といふか

誰がこれを審査しているのだ

・・・・

見とれているうちに
考え方をしているうちに
パリコレクション終了

もんた
みの

つづいて——

いよいよ

うちらかあああ

このいい雰囲気の

後だと

こちらも

ギャンブルか

やけに伸びる

声

みのさん

「韓流いつてみよう

引っ込みはなぜか

きんぢゃん

おいおい

きんぢゃん走りは

やめよう

キャラがわからなくなる

そして
いきなり

大音量で迫る音楽

ミスターだ

ステージ上をまぶしい光が
交錯する

ミスター（後書き）

なし

なし

あれ

5人のはずだが
踊りたい人多数なのか
10人くらいいる

まあ人數が多い方が

派手だけどね

しかしながら

すごい

一糸乱れぬ踊り

K朝鮮も真つ青

上手だわあ

なぜか

こつち系

後ろを向いて

お尻りを振つて

黒いひも

踊り終わつた

達成感

煙がでる

すげええええ

「凝つてますねええ」

もんたさんの

切り込み

若干 所ジョージ

私なんか

? さま

までですよ

みのさん

後ろに向いて

マフラーとめがねで

前を向く

みんなの方で笑顔

あによはせよおおお

向いたと同時に

冬ソナの曲

ややつけ

まあ登場の時よりはよい

所ジョージ（後書き）

なし

なし

紅白おもてなし 和田アキ子

まあ

いよいよラスト

といつか

とりだ

おおとりだ

紅白なら

和田アキ子

超大物

いやな予感がするが

もんたさん

今度は何も言わない

場内暗くなる

無言でMCなし

低いサウンド

どこかで

聞いた音楽

いーのーきー

ぼんばあいえつ

いのきーー

ぼんばあいえ

注入か―――

入り口付近に
ライドが
浴びる

もんたさんが叫ぶ

「赤コーナー1600ポンド、
よしもと こーぎょー
所属 予定」
「ボタンダウン」
「得意技 デツキモんざい」

すげえ もんたさん
猪木のテーマに
ぴったり

紅白のアーティスト 和田アキ子（後藤あき）

なし

なし

入り口から
選手入場

パイプ椅子なんか
振り回して

ボタンダウンか

客は

わーーわーー
キヤーキヤー

叫んでる

いつのまに

ファンができているんだ

桜か

誰だ誰だ

水なんか

バケツでかけてる

おいおい風邪引くよ

それで

観客わーわー言ってたのか
もしかして逃げてたのか

会場の騒ぎとは

関係なく

もんたさん

マイクパフォーマンスを

続ける

「続きまして

青「一、ナ、一、四、〇、〇、ポン、ド

ませ、お、世、能、社、 所、屬、予、定、」

「よ、つ、ち、や、ん、 け、ん、ち、や、ん、」

「得、意、技、 ち、よ、つ、と、い、じ、や、れ、た、」

地下鉄、まん、や、こ、」

まん、な、か、

と、お、り、ま、ー、ー、す、

脱、線、す、る、ん、や、ない、

け、ー、ー、つ、て、や、つ、か、

なし

なし

こちらは

まさに例の人のぱくり
赤いタオルを巻いている
いやいや

振り回している

すごく振り回している

凶器のように

振り回している

2人組で入場して

片方のやつが
あたり一面に
ビンタなんかしている

まさに
勝手に

闘魂注入

客は逃げてる
逃げてる逃げてる
本氣で逃げてる

ほんとに騒ぎだ

大丈夫なのか

1年E組・・不安です

勝手に闘魂注入

しながらも
観客もとい
文学部全体の
ボルテージは
あがる
あがる
あがるあがるあがる
あがるあがるあがる
絶好調
すごいパワーだね
みてみて
椅子上に立つて
握り拳ふりあげて
すごいす"ご"い
他にも
ガツツポーズして
何かに怒っているのか
たたかれてるやつ
拍手してるやつ
ブーイングしてるやつ
ほんとにいろいろ
あきこじこも

なし

なし

デジャブー

猪木ボンバー 言え

むむ

猪木ボンバーと
言え？？

繰り返し流れる

猪木コール

とにもかくにも
興奮が絶好調

最高潮

なんだなんだ
ステージ上のリング
特設リングか
おや！どこかで
見た！！！
なんだこりゃあ
思い出したぞ

デジャブー

中学時代・・・

「カーン」
ゴングが鳴った
両コーナーから
漫才開始

ボタンダウン

強烈なぼけとつっこみ
背の高い方のぼけがまわる
小柄な方は強烈な
つっこみだ

つっこみ方

「ワハハハハ」と
笑いながら叫ぶ

ものまねがうまいのか

大歓声
かなりうけてる
赤コーナー

ボタンダウン有利か

なし

祝
祝
90話 東京人（前書き）

なし

祝 祝 90話 東京人

超大歓声

客層を熟知している

ボタンダウン

それに対する青コーナー

ぴょこぴょこ

よつちゃんけんちゃん出てくる

東京風おしゃれ

関西の方には

わからない

東京の地下鉄路線

をあげて

漫才開始

路線のわからない

関西人を

完全に

敵にまわしている

東と西の対決か

東京人はわーー

これは関西人には
わからないところあり

関西と関東のうどんの違いを

100字内で述べよ
みたいな感じか

東京人はそんなにえらいのか！――！

ひねくれたコンプレックスか

東京人は、

東京人はあああああ

筆者が

東京にコンプレックスを
持っている・・・
感情的にならないように
したいが・・

東京人は
みんな地下鉄に
スイスイ
迷わず乗れて

迷っているのは
田舎もの

迷つて悪いかああああ。
わからないのはわからない。

祝
祝
90話 東京人（後書き）

なし

なし

関西バスターズ

あと、

あの早足に

私はついていけない

そんなに忙しいのか

ゆっくり歩いて

いいじゃない。

東京スピード

けつこう早いです。

早いのが東京人の証なのか。

なんどもこうが

ゆっくりでもいいじゃない。

田舎もんつて悟られても

いいじゃない。

(某NHKの歌にあつたかな)

(カラリーマンZERO)

漫才そつちのけで

そんなことを

考えて頭がまわっている

間に

漫才は終わった

「カンカンカーン」
ゴングが鳴る

漫才の終了を告げる

「判定は」
どこにいたのか
いきなりレフエリーが出てきた
あの白と黒の服を着ている人。

「勝者。ボタンダウン。」

す”――――――

関西人の勝利。

芸歴に差はないと思うが
ボタンダウンの方が迫力があつたか

いやあ

判官びいきじやないけど
関西が勝つて
うれしい。

関東バスターズ。

大阪のおばちゃんは
負けないよ

なし

若大将 加山 雄三（前書き）

なし

若大将 加山 雄三

場内やんやの

大歓声

もんた

登場

静かに曲がかかる。

おやじの曲は・・・

「さあ

みなさん

サライを歌いましょう。」

おいおい24時間テレビか！！

てゆうか

会場も

みんなも

ろうそく持つなよ。

キャンドルファイアーオ

周りに

輪を作るなよ。

歌うなよ。

ながされてるよおおお。

そこへ

「締めはやつぱり

いの人。

くわやま ゆうじゅうさん

静かに一人の長身の
体の大きい人がでてくる

ブルーの背広

若大将

そう

「ぼくああ

死ぬまで君をはなさないよ」

「おつと、まちがつたあねえ」

「シンチヤン、手伝つてくれよお」

残念ながら谷村新司はきません。

サライトの熱唱が
はじまる

意外にうまいぜ

くわやま ゆうじゅうさん

営業ネタか。

みんなも
ろうそくを
ふつている

これで

室内だつたのか
合点がいった

涙をながしているものも
いる

なんか巻き込まれていてよ

24時間テレビと
一緒にしているよ

といふことで
とにかくにも
会は終了した

この後は

打ち上げだそ�だ

なんのひつや
せや

みんないつたん

体育館を

ぞろぞろと

後にしている

会場は

クラスごとに

例のじゅうたん部屋だそ�だ

なんやかんやの

この静かな

感動は何?

若大将 加山 雄三（後書き）

なし

なし

じゅうたん部屋に
やつてきた

もうだいたい
集まつているようだ

部屋の中央に

テーブルが
どこからか運んできたのだろう
飲み会となると

まめなやつがいるよな

そして

テーブルには
ポテト、チョコレート
などなどのお菓子
袋で山盛り
買い出し大変だつたんじやないか
ご苦労様だ

お酒もあるよつだ

缶ビール350mlが
6パックずつ
ペリカンのよつに積んである
きれいな積み方
芸術性を感じます

サワー系も

ある

山と積まれてる

こちらは

タワー。

スカイツリーのようだ

といふか

似せているのだが

そつくり

そして

缶の縁とか、青とか

ピンクとかの色を

うまく使つてゐる

いまはやりの

3D効果か

眼鏡はかけてないけど

かなり高度な

建築技術

いや積み技術。

みとれる

観察しながら思う

取る時どうやつて取るのか

疑問も生まれる

まあいいか

芸術系の仕事だね

そういうや

宿舎は飲酒可だったのね

まあいちお

大学の宿舎だし・・

突然、みんなに
呼びかける挨拶が・・

「あ、あつ、
僭越ながら
乾杯の挨拶を
不肖、私、佐藤が
行いたいと思います。」

なし

なし

おーおい誰だよ。
私。

どんぐり「クラス委嘱」

なんでも親父さんは
有名な国會議員さんらしい
もしかしてあの
髪の毛に特徴のある
大物政治家か？？？
雰囲氣が確かに似てる
なんというかすごい大学だね

委員の挨拶は続く
なんだか大人の
アジテーゼ

打ち上げなんだから
ぱあつといこう
そう私が
思つたとたん
「おい佐藤、はやくやるわ」

はつちやきだ、、、以心伝心か
まあ、はつちやきうしいな

かんぱあああーい。

大きな割れるような盛大な声
わああああとはじけるような
歓声、続く拍手。。。

拍手が長い。

みんなも振り返るものがあるのでうつ。

そして

ああ、合宿も終わりか。
一口ビールを飲む
感慨ぶかい
まだ相変わらず苦い
引っ越して飲んで以来だ
しかしながら
あの時の寂しさはない

ふとじんぐりを見る

じんぐり
もう
涙ぐんでいる

なし

華（前書き）

なし

どんぐり

あまりお酒は

飲み慣れていないのか

すこしふーるを

飲んで

というか

一口か一口じやない?

泣くなよ。。。

どりした

どりしたどりした

何を感動したんだ

どんぐり

ぼそりと一言

「命宿が終わる。」

少し感極まつて

「わう思つて。。」

オハラ、はつねやれも

やつてくる

はつねやれは足をまだ

ひきずつている

よねつと

はつねやれは

片手をあげてる

器用だね

しかしながら

顔が笑顔だ

久しぶりに笑顔をみた

明るい

天使のようだ

まわりが

ぱあっと明るくなつた

やはり太陽か

華がある

華（後書き）

なし

なし

八海山

はつちや きは

飲み慣れているのか

日本酒だ

お~おいおやじかい

まじつつこみしそうだ

さつきの

や、漫才の影響か。。。

はつちやきは

花火の現場でよく

打ち上げで飲むそうだ

八海山

しぶい

はつちやき

くいっと飲む

白い紙コップが

まぶしい

紙コップが重みを持つて
見える

飲みつぶりが

様になるとほ~ほ~ほ~とを

いつのだろう

はつちやき黙つて私に紙コップ

日本酒は
未知の領域です。

・・・・・

私が飲めないと思ったか
無理強いせず
かつてにはつちゃ
き出したコップをもどして
飲んでいる

私が飲みたそうな顔を
していたそうだ
いえいえ
みとれていたんですね

八海山（後書き）

なし

ワインボトル（前書き）

なし

ワインボトル

オハラは
ワイン飲んでる
飲んでる姿にびっくり
こちらも

様になるねえ
グラスの持ち方が
素敵です

「ワインは社交で
普通です」

社交つて何

どんぐり
「パーティ」

泣きながら言つなよ

私は飲んだことないけど
おいしいのか

何、飲んでるの？

どんぐり
泣いてるわりには
素早く
ボトルを持ってくる
ラベルを見てみる

ハートのマークが素敵だね
中にお城が描いてある

洒落たワインがあるんだね

はじめてみた

オハラは

なんかのお祝いで
飲んだことが
あるらしい
家でも普通に
飲むことがあったそ�だ

ワインボトル（後書き）

なし

天使の足（前書き）

なし

天使の足

どんぐり

7千円から1万円か
ぼそつと言つ

えつつ。

ワイン1本

。 。 。

誰よ

こんなのは持つてきたの。

というかどんぐり
よく知つてゐるわ。

なかなかメジヤーらしい

さらに続けて

どんぐり

ワインのグラスを
私にかざして
天使の足

ワインをグラスで

軽く振つた時
できる

ワインの跡

それが

おいしいワインらしい
ホントにつるむかく
よく知つてゐる

貧乏くさいが

試しに

一口も‘ら’づ

オハラのグラスを
飲ませてもらつ

ど‘づ’や

高いから

おいしいのか

と

思つたが

しぶい

コルクの匂いもする

どんぐりに

言わせれば

それがおいしいらし

すごい渋い顔をしているので

オハラ

上品に笑う

はつちやき

ドンと

私の背中をたたいて

大笑い

笑いすぎだよ

つぼにはまつたか

しかしながら

はつちゃき、顔に全く
酔いがでていないが
元氣になつていつてる

まあ元氣になるのは
よいことか

ワインいっぱいで

漫才か

なし

井戸口（温水や）

なし

非常口

だんだん会場が
ざわついてきた

ふと見ると
非常口か

扉があつて

外に出れるようだ

そちらに向かい
ぎぎつと押して

外にでる

すうつと冷たい

夜氣にあたる

高原なので

さすがに

夜は肌寒い

さつきのワインが効いたか

酔つたようだ

外氣は寒いが

酔いはさめそうだ

見れば

山は静かだ

だが存在感を持っている

暗闇の中

そこには

山を感じる

深い黒

夜目が慣れてきたのか
まわりの木立も見える
遠くでけもののか声がする

森は寝静まっている

硝子の向こうは

にぎやか

少し硝子も曇つてきている

4月なのに

誰かがひびひび
やつてくる

なし

祝 祝 祝 100話 メガホン（前書き）

なし

シルエットが
こちらに

来る

ああオハラか

ワイン大丈夫ですか

勝手に飲んだのに
オハラは親切だ

しばし

二人で黙る

あんまし

こういうシチュエーションは
経験がない

なんだか困る

どうしたもんか

オハラ

突然

私は

「私が元気になります」

につっこりと

こちらを向いて言つ

笑顔が
まぶしい

つい田線をそらす

でもそれを聞いて思った

そうだ
新しい生活だ。。。

改めて

入学前から

なにを自分はうじうじと
やつていたのだろう
恥ずかしい
穴があつたらはいりたい
そんな気持ち。

なんと言つていいか
わからないけど

無理矢理

「俺も元氣になる」
手でメガホンを作つて
叫ぶ

あんまし突然

大きな声を出したので

オハラびっくり。
でも笑顔で

笑う

大きなこだまで
木から
鳥が羽ばたいて
いつた
こうして
合宿は幕を閉じた

祝 祝 祝 100話 メガホン（後書き）

なし

なし

新章突入 スカイブルー

きれいに整えられた

街路樹の

木々の新緑が

本当にまぶしい

おまけに

道路沿いに

きれいに花も植えられていて

とてもよく

整備されていて

たくさん

真新しい建物が並んでいる

そして

ゴミ一つ落ちていない

すごい街だ

見上げれば
空。

真っ青だ。

高い。

首がいたくなるくらい
見上げる。

どこまでも続いているようだ

その高い空を

飛行機がじゃんじゃん

急上昇している

少し置いて

音が追う

すごい

15分に一度か

それくらいの

間隔で

どんどん飛び立つて いる

日本のはるか・・・

いや世界の

かなたに・・・

どんどん飛び立つて いる。

そんなに飛んで大丈夫か
首が痛くなりながら

見つめる

飛ぶとこ

そんなに見たことないもんな
このままどこかに
飛んでいくのか・・・
旅だつていいくのか

なし

ねじりあつねたためめか (前書き)

なし

おにぎりあたためますか

座っているところから

もう一度

改めて

まわりを見る

何度見ても

やつぱりすごい人だ

本当に

なんという人だ

人に酔う

田舎ものにはつらい

人と会うのが

話をするのが

1日に数人の世界です

下手したら

いやいやそうでなくとも

しなくとも

学校と家の往復です。

知っているのはコンビニの
ねーちゃんくらいです。

「おにぎり

あたためますか」

「いえ、いいです」

ねーちゃん

黙つておつりを渡す

手は触れないように

「レシートいりません」

(エコを意識してか)

別のことを意識してか

ていいか

「エコを受け取らないだけ何じゃ???

それにもしても

うんざりするくらいの人
よくまあこれだけの人があ

いるもんだ

来るもんだ

皆、楽しそうにしている

本当に笑顔

うれしそう

楽しそう

どんどん人が集まつてくる
カツプル、家族連れ

お年寄りも孫と一緒に

本当に幸せムード

おじやつあたためまか（後書き）

なし

なし

警戒 エヴァンゲリイオン発進

なぜだらう。

なぜ。

なぜなぜ。

私は

ここにいる

視界の中央に

テレビで

見覚えの

あの

お城が建っている

軽快に

メインテーマが

ながれてくる

私にとつては警戒だ

警戒ランプ

エヴァンゲリイオン

あの主人公

王様か？

キャラクターが

何かに乗つて

こちらに

向かつてくる

沿道で

歓声があがる

みんな必死で手をふる

本当に必死

それに

命をかけている感じすらする

写真をとる

デジカメ

携帯

ハンディビデオ

すごい

すごいすごい氣迫

お父さん張り切りすぎて

前につんのめつて倒れそう

頑張つて

思わず応援する

そう

ここは

夢の国

ディズニーランド

そして今日は

ゴールデンウイーク2日目

ていうかあ

はっちゃき!!!!!!

連休2日目なら人はいないつて
うそつくなあああああ
!!!!!!

おこねここあわだよ
!-----!

警戒 エヴァンゲリイオン発進（後書き）

なし

なし

隣のはぢやき

しらつと

例年よりは居ないよ

おいおい

十分です

一生分の人にはつた感じ

そして思うに

私たちは、さつきから
何かのアトラクションに
並んでいるが

進まない

軽く1時間は
いるじゃないか

いや

飛行機が5回くらい
飛んでいったから

まちがいない

確信する

絶対いる

私はもう一生分の飛行機の
離陸は見たと思う。

そう

羽田空港は幕張の沖

振り返れば

今日は

朝 7時

幕張駅に着いた

K県からは遠い

反対側だ

どんぐりは

車で送るよと

言つて いたが

電車で

こんなにかかるとは

とほほです

田舎者の無知

なし

なし

どんぐりの車は
かえつて

高速が渋滞するかと思って
電車で行つてざまあみろと
言おうと思ったが
なんのことはない
送つてもらえばよかつた
後悔先にたたず

唯一よかつたこと
家を早くでてよかつた

といふか
昨夜から
ずうづうとネットゲームを
していく
氣がつけば朝で
そのままで

寝なくてよかつた

着いたことで
いちどきに疲れがどつと出る

東京駅から15分
知つていたけど
電車もすごい人

京葉線

ラッシュだ

なんで連休で

ラッシュなの

！————！

東京までは
がらがらなのに

幕張について

私は

本当に今日は終わつた
という感じであつた

それにも

朝7時なのに

すごい人

人の波

駅前です

繰り返すが今日は連休2日目

そして朝は7時です

これは迷子だ
見つけれない

見つからなかつたといって

帰ろう

幕張までは来たのだから

そう思つて

改札に向かおうとした時。

なし

なし

突然

携帯が鳴る

大音量

自分で自分の携帯にびっくり
なんでこの着信音

誰だ

ゴッヂーファーザーにしたの

…………

どんぐりか

私の着信がほとんぢないのを
知つて…………

計画的犯行

はつひやきの着信

すぐに

人混みから

こちらに

駆け寄る氣配を

感じた

幕張駅の柱の向いから
手を振つてゐる

ゴッドファーザーが

聞こえたか

いい耳してるぜ

ていうか

早いぜ見つけるの

私の

夢は消えた

・・・・・

なぜ私が

ここまで苦労して

ここに来たのか

いや

来なければならなかつたか

・・・

なし

なし

まちぶせ

振り返れば
桜も散つて
葉桜がまぶしい

4月下旬

1週間前・・・

ざわめく
大学構内、
学食前で
ばったり
はつちやきに会つた
私は

いよいよ

食べるのもなく
学生証カードなら
銀行引き落とし

学食で

カード払いで
食いだめしきう
そう思つての
ひさしごりの
構内であつた

しかしあはうのは
すごい確立
まちぶせとしか

思えない

おかしいかな

あの合宿以来であつた

確か

ワインを飲んだっけ

氣がつけば

酔っぱらつて

次の日

どんぐりに助けてもらつて
バスで宿舎を後にしてたなあ
遠い記憶がよみがえる

半年くらい前の

氣がする・・・

もちろんオハラも

はつちやきの

後ろにいた

まぶせ（後書き）

なし

同情するなりとおもふれ（前書き）

なし

同情するなら金をくれ

久しぶりに見る一人

なんだか二人とも
随分あか抜けた感じ
そうか

季節は初夏になるのか
「じゃつぱりして

はつちやきは
もうTシャツか
ピンクが似合つね
といふか
まぶしいよ
俺が着たら
林家パー子だよ
若いね
はつちやき
あんたは年寄りか

オハラも
相変わらずの
長身で
モデルのようです
モデルだつたのか?
記憶が「ちや」「ちや」。

デパート

古いね

銀座とかの
ブランド有名店から
出てきた感じ
ブランド音痴の私でも
わかる

た・か・そ・う

同情するなら金をくれ
言葉が浮かぶ
が
黙つて飲み込む

同情するなり金をくれ（後書き）

なし

なし

連行

私はみすぼらしい
格好で
ほとんど浮浪者
着たきりすすめ
何日着つぱなしだ
オハラに会つて
自分で自分に
匂うかもと
思つたりした
まさに
うらしま太郎
ここは竜宮城か

その後

学食に連れていかれ
(人が見たら
連行されたとも言つ)

そして
すぐに
どんぐりも
はつちやきに呼び出され

どんぐりも
私の前に立つていた
運動部に入ったのか

ジャージを着ている
相変わらず
かつこいい
とてもデブには
思えない
とても
ジャージが似合う
今のジャージは
誰でも
かつこよく見えるのか
それは思えない

なし

なし

「飯大盛り」

ひさしひぶりのどんぐり
聞けば昼休みなので
日課のジョギング

新縁の中

構内を走っていたそうだ
額に汗がにじんでいる

あんたは
すごいよ

自分の情けなさが
身にしみる

こうして

人は世間からはずれていくのだろう

学食は比較的すいていた
久しぶりに見た

健康的な

良心的な

栄養価のある

食べ物

私は
どんどん
取る
ご飯をおばちやん

大盛りにしてくれた
サービスか
金を取るのか
よくわからん
こつちが
食べてない身なりだつたからか
同情するなら金をくれ
どうせ
カードだ

ご飯大盛り（後書き）

なし

あります。 現金4680円(前書き)

なし

ありがとうございます。 現金4680円

まあまあ
並んだおかげ

めいつぱい
トレイに並べたおかげ
定食、さらに持つて帰らひつ
思つて取つたパン

ちやりーん

全部で

4680円

バイトレジ係りも

やや苦笑

本当に

苦笑い

こんなに買うのも

いないだろ

こちらも

びっくり日本新記録

カードを渡そつとしたら

横から

スッと手が

なんだ

どんぐりが

切れそうな

ピン札を一枚

レジに手渡す

おおお

久しぶりにみた

新渡戸さん

だつたか

お札もみていないので
忘れた

夢じゃなかつた

なんと

どんぐり

ゼーーーーーんぶ

払つてくれた

キャッシュで

現金で

4680円。 。 。 。

現金4680円（後書き）

なし

なし

密会

持つべきものは友だちだ
金のある人は違う
ニコツと笑つて
どんぐり
小銭を全部
私に握らす
オオマイゴツド
ゴツドファーザー デス。 。
びつくりして
急に外人に。
ていうかカタカナ外人か
それにしても
320円で
しばらく生きられる。
神だ、仏だ
本当に素晴らしい。

私が
夢中で
がつがつ食べている間
なぜか
3人ぼそぼそと
密会。
長い密会の後、
なぜか
はつちやきが

5千円をどんぐりにわたす。
なんだ援助交際か。

そして

次の二言

5月3日

幕張駅午前7時

絶対來い。

なし

なし

不良債権 刑事さん私がやりました

「」まで

きたら5千円はねちやら。

なんだなんだ
いつの間にか
善良な市民の
おじりが
債権化され

悪徳

まさに悪徳
はっしゃき銀行に
不良債権として
渡つていた
オオマイゴッド

さらに

来ないと

今後、大学講義の
代弁はしない。

鬼のような
はっしゃきの
形相

す「」

怖い顔だ

剣道2段

空手なら

投げ飛ばされそ
うな
氣配。。。

でも

その裏には

優しさがあつたの
だらう

怒ることで

私を大学に

引き戻そうとしていたのか

といふか

講義の代弁を

どんぐり共々

今まで

してくれていたようだ

私は選択権はなかつた
といふか

心の中では

頼んでもいのに
ご苦労なこつた

人間は楽な方に

楽な方に流れていいくのです

黙っていたが

心の中でうそぶいた

しかし

どんぐり

「もう大学辞めた人も
何人かいるらしいよ」

「故郷のおふくろさん

どう思うかな。」

「これ食べて楽になんな」

思わず

刑事さん

私がやりました。。。。

と

言いそうになつたのは

BSの見過ぎか

健さんは続いています。

不良債権　刑事さん私がやりました（後書き）

なし

なし

女子高生

舞浜駅前の

柱から小走りで

こちらに向かう

少女

はつちや

ひらべつたい

薄茶の靴で駆けてくる

見れば

めずらしい

はじめて

見た

・・・

といつても

まだ数回しか会っていないが

うす紺のなんだかふりふり

だがレースだがで

ひらひらのスカート

上は

チェックの

バー・バリーミたいな

線が格子状に入っている

スマートな服

しゃれてるなあ

でも落ち着いているけど

ちょっと見は

女子高生

おいおい

俺でも分かる感じで
うつすらと化粧している

頬が薄くピンクだ

そして定番

真っ赤なしゅしゅ

ミニーだ

はつちゅやせ

ぶつかりそうな

勢いで

こちらに来る

私を抱きしめるよ！」
して止まる

「よく来たよ」

あんたがよんだんだろ

言おうと思つたが

すこし

いい匂いがしたので

心の中でつぶやき

黙つていた

はつちゅやせ

自然に

私の手を取つて

駅の向こう側に行く

ところか

完全にはぐれると

思ったのだろう

女子高生（後書き）

なし

〔ハナリ（繪畫）〕

なし

おいおい

向かう方向が

完全に

人の波と反対なんだけど

まさか

やめて帰るのか

それとも

秘密の入り口か

いつた先は

改札の並びにある

コンビニであつた

驚いた

いつもの

コンビニだが

すごい人

なぜもつと

大きくなつくりない

と

思つほど

すごい人、人、

はつぢやき

すばやく

いくつかのおじぎ

飲み物

ステイックタイプのお菓子を

取つて

レジに並ぶ

レジ前も大混雑

軽く書いているが

レジは3台フル稼働

レジ前の列はそのまま

お菓子コーナー

食品コーナー

お弁当コーナーへ

長い行列となつている

コンビニで

こんな風景みたことない

さらに

入り口からは

あいかわらず

すごい人

どんどん人が・・

ますます増えている

どうなつているんだ

入場制限した方がいいんじや

コンビニに

何人

人が入れるか

びっくり日本新記録か！！！

子どもが泣いている
夢の国の入り口なのか
先が思いやられる

なし

モノレール（前書き）

なし

モノレール

「ンビーから
やつのこと」で

命からがら

買い物して

出てきた

すると

すぐに

はつちやき

また私の手をとつて

猛ダッシュ

走る

苦しいです

遊歩道みたいな道を

通つて

どんどん進む

長いね道が

どこまでも続いている

人をよけながら
すすむ

見れば

頭の上を

なんだか

すごい乗り物が

通っている

なんだ

モノレールだ

すごいぜ

ディズニー

自前でモノレールまで

あるのか

よく見れば
窓はミッキーだ

というかどこに向かっているのか
乗ればいいのに・・・

と思つていると

遠くに夢の国の
本当の入り口が
見えてきた
なんだかすごい人だかり

モノレール（後書き）

なし

なし

言つておぐが
まだ7時少し過ぎ
それなのに
人がうじゅうじゅういる

はるか遠くだが
それはよくわかる
たくさんの人人が
ゲート前の入り口にいる

びっくりした

今日は何度もびっくりすればいいのだ

はつちやき
つないだ手を一度はずして
額にかかった
髪の毛をはらう

払いながら
安心して
「ああよかつた
まだ人はいないよ」

おいおい
どこをどう見て
あれで人が
いないと人は言うのだろう

都会人はこれだから

困る

ふるせとは

遠くに

ありて

おもうもの

・・・

突然

室生犀星の句が

浮かぶ

なし

踊る大捜査線 レインボー・ブリッジを封鎖せよ（前書き）

なし

踊る大捜査線 レインボーブリッジを封鎖せよ

おや
入場ゲートに向かう
道を
テロ警戒か
封鎖している
調べてる
ものものしい
警官か
やるな
警視庁
よくみれば
一人一人
手荷物を
調べられている
すいません
私がやりました
GW、爆破テロで
封鎖か
踊る大捜査線
レインボーブリッジを封鎖せよ
もとい
ディズニーランドを

封鎖せよか

少し

古かつたか

警察を見て

ニコニコしている

私を見て

はちやき

「荷物検査」

「警備員」

本当だ警視庁ではなかつた
検査も簡単

封鎖ゲートを抜けて
パーク正面

正門に

入園は午前8時

おいおい

まだ40分近くある
パチンコの新装開店でも

あるまいし

待つんかい

踊る大捜査線 レインボー・ブリッジを封鎖せよ（後書き）

なし

シーチキン（前書き）

なし

シーチキン

列に並ぶと
「どつちにする
おにぎり」
はつちやき
聞いてくる
指さしたおにぎり
シーチキンを
むいて
私に手渡す

それで
コンビニなのか
朝飯か
合点がいった

全然動かない列に
並びながら聞く
そういうや
入るときに
お金を払うのか
おにぎりを
ほおぱりながら
聞く
はつちやき
「もう置つてある」
みれば
テレホンカードみたいな

薄っぺらなカードを
私に渡す

それはなくすなとのこと

電車の切符も怪しいのに

大丈夫なのか

見れば

はっちゃきは
なんだかミニーの形の
パスケースみたいな
ものを持っている

ひまなので

見せてもらうと

はっちゃきの

カードは

私と違う

写真入り

シーチキン（後書き）

なし

プリンセス（前書き）

なし

プリンセス

なんと

年間パスポートなるもの

毎日これるのか

すげええ

そんなのあるんだ

聞けば

さすがに

高校は通学で
時間がかかる
とらなかつたけど

中学の時は
学校終わって

一人で

電車に乗つて

放課後

しおりちゅう

来てたそりだ

おいおい

あんた

どこまでマニアなの

おじきりを食べ

茶を飲み

時計を見るまだ

7時半

することができなくて
並んだ後ろを見ると
すごい

恐るべし

ディズニーランド
すごい人だ

これだけの人が
園内に

あふれるかと
思うと・・・

ふと脇を見ると
まさに正門正面

なんだなんだ
プリンセスか
もう一度
目をこらして見る
寝ぼけているのか

まさにプリンセス

ミッキーの映画でおなじみの

うす水色のドレスを着た

長身女性

それをエスコートする
カジュアルなスーツを

着た男性

かっこいいね

様になつてゐる

プリンセス（後書き）

なし

長いメール（前書き）

なし

長いメール

二人は
しづしづと
だれもいない
正門前をすすんでいく
すげえな
そう思つて
はつちやきに
教えてやろうと
思つたら
何かかしゃかしゃ
メールをやつてる
あくまでも
マイペースな人だ

周りの人も
羨望のまなざし

見とれていると
エスコート男性
正門前から
すんなり
中に入る

ミニーとかも
そこを
通つて
出勤するのか

わけがわからん

しばらくすると

なんだか

園内がさわがしい

いつの間にか

中に入つてる

そして

ミッキーとかが

出迎えている

握手したり

写真取つてる

タイムラグか

時計は7時50分

列は進まない

あいかわらず

はっちゃき

メールを打つ

長いメールだ

長いメール（後書き）

なし

なし

ぼんやりと
あぐいをしながら
空を眺め
まだまだ暇なので
次に
苑の花壇を眺め
ちよろちよろしていく
家族連れの幼児に
ちよつかいをだそつかと
思つていたら
よかつた
変なおじさんにて
なるところだった
はつちやきに
話しかけようとして
はつちやきを
見れば
はつちやき
黙つて正面を見据える
鋭い眼光
何かに勝負をかける感じ

見れば眼光の先には
開園なのか
列があわただしく
動き出した

はつちやき
本当に
怖い顔をしている
何が始まるのだろうか
こちらも
身震いする
寒いのか
もしかして
トイレに行きたかったりして

そういえば
思い出したが
どんぐり、オハラは
どうしたのだろう
この人混み
さすがに
携帯でも集合
できなかつたか
割り込むことになるもんな
中で集合なのか？？？
まあ会えるだろ？

なし

まへなマーク知識（前書き）

なし

はてなマーク点滅

のろのろとした列の中

終始無言の

はつぢやきに

どんぐりたちの事を

聞く

一言

「パークイン」

おいおい

いつから並んでいたのだろう?

うちりで7時なので

そつとう前から待っていたのだろう

聞けば

オハラは

初めて東京ディズニーランドに

来ること

楽しみだつたのだろう

一人ごちして

納得する

しかしながら

いやいや

入り口に近づくほどに

どんどん

園の中に入が

吸い込まれていく

見れば

入り口を出ると

みんなダッシュ

なぜダッシュをするのか

疑問？？？

はてなマークが点滅

さあ、もう入り口に
5mほどに

なった

はっしゃき

「ダッシュするよ

緊迫感を持つて言つ

そういうて自ら

入口に行き

銀色のレバーを押して
入る

私も続ぐ

まへなマーク^記滅^消（後書^後）

なし

なし

ルパン3世 カリオストロの城

私が入ったとたん
私の手を取つて
はつちやき
ダッシュ

中央の

大きな花壇の周りには
ああ見たことがある
ミッキー、ミニー
そのほかのキャラクターが
勢揃い
いるねいるね

写真とりたいところだ
人もかたまりになつて
ミッキーにまとわりついている

しかしながら
はつちやき

無視

どんどん

手を引つ張つていく

メインエントランス前の

中央の通路を

走る

すごい勢い

人をかきわけ
いやすり抜け
颯爽と走る

あんまりすこい
勢いで

なぜか私は

ルパン3世

カリオストロの城を

思い出す

とつさつあんと、ルパンが
城から協力して
脱出するところ

追っ手に追われながら
城の階段をあがつて
ジャイロモビルだが
なんだか

小さい

ヘリコプターを
奪取するべく
走るところ

その時の音楽も
まわっている

お城つながりか

ルパン3世 カリオストロの城（後書き）

なし

ファーストパス（前書き）

なし

ファーストバス

はちやき

突然右に曲がる

抜け道か

カリオストロ音楽再び

細い道を

通つて

広い広場に出る

なんじやあれば

すごい

人 蛇のようこ

うねつている

「並ぶよ」

はつちやき一言

この魔物から

姫を助け出すのか

(映画の見過ぎです)

並ぶと言つても

すごい列

なんだこれは

くねつてている先は

まだまだ

お城の方に列が

続いている

どこまで行くんだ
終わりはあるのか

やつと最後尾が
見えた

ほつと一息。
列に並ぶ

並んだと思つたら
どんどん前に進んでいく

「何に並んでいるの」

はちやきに聞く
「ファーストバス」

あいかわらず

説明はない

バスを用意しろ

とのこと

バスつてなんだ

さつき入場の時に

差し込んだ券

あれつ

どこにいった

おれの券。

さつきまであつたのに。

ファーストバス（後書き）

なし

なし

無意識

ポケットを探す

右、左

ジーパンの

ポケットは

ない

つぎに

財布の中

いつものくせで

無意識に

入れたかもしね

どんどん

列が前に進む

あせる

あせるあせる

アメリカ

田舎の

ガソリンスタンド

みたいな

機械のあるところに

近づく

あれに
券を入れるのだ

周りを取り巻く

あれ
どこ

「早くしな」
はつちやきも
いろいろする
そりやそうだ

さつきまで

あつたもん

もしかして

走つて落としたか

情けなし

ああもうだめだ

いつもの癖で
ジーパンの
ポケットに
手を入れる

へんな違和感
むむ

なし

なし

おお

ここに入れたか

というか

あつたか

なんだかびっくり

そしてよかつた

やつと実感する

落としてなかつた

やつたあああああ

助かつた

よかつた

少し泣きそうになつた

なぜ

ディズニーで

こんな目に

魔法の国

夢の国では

なんだか

ディズニーは

戦いだ

列の先頭に

機械を目の前だ

はつちやきが
先に券を入れる

はつちやきが
私を見守る

間一髪

券を入れる
別な券が下の口から
出てくる

「走るよ」

はつちやきの

一言

なんだか

声に張りがある

よかつたああ

なぜか自然に
手をつなぐ

北上する

どつちが北だい

それより

どんぐりは

いづこに

なぞばかり

なし

たけひや さん (記者)

なし

たけちゅさんマン

近代的な
宇宙空間のような場所を
ひた走る

次に見えてきたのは

グリム童話の
ヘンデルとグレー テル
に出てくる

お菓子の家のような
ポップな

家々

うーん

たとえかたが
わからない

大きな門

がある

いやゲートをぐぐって

ゲートをぐぐって
右手奥にすすむ

ちんちん電車も

走っている

アメリカの

サンフランシスコとかに

あるようなもの

だけど
すこし傾いている感じで
走っているのは
氣のせいいか?

なんだ
小さな家に
すごい人だかり
あれば
なんだ
鳥だ
飛行機だ
いや
たけちゃんマンだ
古い！！！
すごい昭和ギャグ
だれにすりこまれた
はっちゃきか
そこは
なんと
泣く子も黙る
ミッキーマウスの家
すごい
意外に小さい
よおぐ見ると

おいおい

人だかり

なんと

家の裏手まで

続いている

超がっかり

超超ショック

ミラクルワールド

どこまで進むんだ

そつかここに

並ぶんだ

待ちのワールドに

1時間まちか

何

ぼそっと

はつひやき

「1時間半」

ええ――――

正氣のきたじやない

こつして

ぼんやりとしたところで

私の回想は終わる

前の話に戻ったわけですね

といふことはここで

話が戻ると

永久に話が終わらないのですね

と
そのとおり

はつひや きの携帯に
メールの着信

なんだあああああああ。
何があつたああああ。

たけちちやん（後書き）

なし

イーサン・ハント(前書き)

なし

イーサン・ハント

「やつひらがへる
しづしづ言

はつひやきがうなる

なぜ、うなる。。。

それより

誰だやつひらって

もしかして
待ち合わせの。。。

どんぐりとオハラ

！――――！

やつと会えるか。。。

なんと

彼らは特典を使って

うちらより

はやく入場したらしい

とっても人氣な

パーさんのハニーハント

に行つたらしい

何をハンターするのか

MI5か

イーサン・ハントか

(大ヒット記念 情報待つ)

なんだか舌をかみそくな
名前。

そして、じょっしーーーに
人氣がでそうなアトラクション
だそうです。

氣がつけば
ぜんぜん進まないながらも

うちらは

ミッキーマウスの家の正面に
いたのに
寒い裏手にまわってきた

洞窟のようだ

トンネル
短いけど・・・・

しかしながら

寒い寒い

幕張の浜風おそるべし

表の方が騒がしい

なんだなんだ
新キャラ登場か

はたまた迷惑な客か

がやがや

こちらに近づいてくる

なんだ

美女と野獸か

ドレスを着た長身の美人
はたまたもう一方は
・・・

イーサン・ハント（後書き）

なし

祝130話 カリオストロの城 再び（前書き）

なし

祝130話 カリオストロの城 再び

どんぐりだ！――――――

カリオストロの城
再び
音楽がよみがえる
なんやかんやで
頭で
リフレイン
逃げ切れない。
にげきれないと言えば

まさに逃走中
某局

見てましたよ。
というか
まさに見てます。
中盤。
可哀想に。

エグザイル捕まつた

ペアが悪運

風雲で
もとい
不運で

やるひなら

狩野えいじつ

東北のために頑張るが
多分だめだろう

めちゃいけの
大久保

セーフ。

最近頑張ってるね。

大久保アウト。

と思いきや
エグザイル

狩野えいこう逃げ切る

やつてるねえ。

著者勝手型臨場作戦。

これからもしていきます。

話し戻して

ああ、あれは
どんぐりだ

いけめんとは

言えないと

ダンディー。

エスコードが様になつてゐる。

といふか、

「エスコード」・・・

祝130話 カリオストロの城 再び（後書き）

なし

トランシッシュペイペイ（前書き）

なし

テレビショッピング

そうか

あれは・・・

でおなじみだが

そうか

夢、幻ではなくて

あれは、

正面入り口の

あの二人は

なんと

そうか

こりゃまた

これはいつもの

五智バトルの

(日テレ)

現金 2百万

テレビショッピングではあります。

ていうか

関係者と思つた

あの一人は・・・

記憶がよみがえる

もしかして

二人は

なんで・・・

そんな・・・・

それで

見知つた

はつちやきも

機嫌が悪いのか・・・

二人に

会うなり

はつちやき

「泊まつたの――」

おいおいなんだいそりやあ
心中穢やかでなし

波高くして
なんとやら

某NHK
マリードラマ

テレレッショング（後書き）

なし

なし

さてさて
渦中の二人
どこに
泊まつたのだろう。

といふか

はつちやき
何を見たのか

家政婦は見た。
別な三田も
話題です。

何を

それで

不機嫌なのが。

火曜サスペンス劇場。

そういうや

あれは

なんでいつも

断崖で解決なの・・・

柳沢しんごがCMでもやつてました。

今日は

なぜが多い日だ

なぜ。
どうして。

可の国も

なぜが多いですけど。

・・・・

お亡くなりになられたようです。
すみません話を戻します。

近づいてくる
二人。

随分親しそう。

明るい。

そして楽しそう。

雰囲氣がよい

華やかな氣配

そりやそうだ。
なんてつたつて

あの人目。

あの容姿。

誰だつて氣になる。
私だつて氣になる。

なし

ダルびっしゅ（前書き）

なし

ダルびっしゅ

列に並んでいる
お客様から
握手を求められる
写真は撮られる

ここに個人情報法はない

しかし
本人たちは楽しそうだ。

だいたい
よっぽどの人でなければ
ディズニーの
キャラクター全てはそらんじません。

だから

外国の方と思うのでしょうか。

どんぐりも
いい意味で
引き立て役
さまになつてます。

そりや そうだ

二人とも

外国の方よりは

安心するし
聞きやすい

しかしながら
某書によると

外国人キャストも
なかなか高級鳥らしいです。

まさにちょっとした
ダルびつしゅ
クラス
あそこまではとも
思いますが。

そちらの方も
いろいろあつたので
新天地で頑張つてほしいです。

ダルびっしゅ（後書き）

なし

なし

新大久保の韓流

ぼんやり

そんなことを考えていると

彼らが、

彼女らが

どんどん

こちらに近づいてくる

近づくたびに

ちょっとした

オーラ出まくり

わーわー

きやーきやー

言っています。

新大久保の

韓流も真っ青。

若干そこらの年代もいますが
若い人が多いです。

それにひきかえ

自分の身なりを見る

こちらは貧乏オーラ出まくり

まさに

ちょっとした失業者

もとい

浮浪者。

昨日の徹夜が
かなりの演出
よれよれです。
髪もぼさぼさか？？？

ばーねすで

はつちゅやきは

江戸っ子でまくら

まさこ

浮浪者

よれよれに
なすすべなし

戦闘態勢です。

ケンカにならないとよいが
ちよつとした

嫁姑の

バトル

嫁の厳しい

応酬

か！－！

ひつかひつかなることひづり

なし

なし

大岡裁判

曲がったことは大嫌い
はつちやき

どんぐりとオハラが寄るなり

はつちやき

開口一番

「どうだつた」

何がどうだつたのだろ？

やや心配そう

何を心配してこらのか

さしもの

はつちやきも

心理作戦

突入。

はつちやきの心理

奥が深い！！！！

読めない！！！！

まずは

ほとけ心で

事情を聞くのか

大岡裁判か

どんぐり

やや疲れた顔で

こちらは

何もしゃべらないが

・・・

何が疲れたのか

ついに

重々しく

どんぐりが

つぶやく

僕が悪かつたんだ。

沈んだ声。

まあ

そういうふうに

みんな言つだらううね。

落としどうんとしどう

皆の

沈黙が痛い。

なし

たわらひやつた婚（前書き）

なし

やきりやつた婚

沈黙を破り
オハラが言つ

私が悪いんです。

またもや沈黙。

何?????

そこで黙るな。

またもや一同沈黙。

恋愛話によくある。

ここは夢の国でありながら。

やつぱり

二人は

・・・・・

なんと言つていいのか
わからない

関係なく

まわりのざわめき。

そこへ

はつちやき
満面の笑みで

「 しょ う が な い ん じ ゃ な い 」

そ う こ う か
は つ ち ゃ き

よ く あ る

で き ち ゃ つ た 結 婚

兄 弟 、 姉 弟 の 言 ひ 口 詞 。

両 親 、 親 戚 は そ う は い か な い 。

な ぜ な ん だ

江 戸 つ 子

い や に 理 解 が は や い ？ ？ ？ ？

やきひつた婚（後書き）

なし

ナシ アンデ トモ (無味わ)

なし

テツ アンド トモ

改めて

はつちやきが

「しようがないんじやない」

はつちやきが言葉を繰り返す

リフレイン効果は

沈静を呼ぶのか

その効果をねらつてしているのか
何を狙つてしているのか

はつちやき

満面の笑顔

パート2

「わたしも泊まりたかった」

超重要発言

私だけ
並びの
周りの
客をうかがつてしまつ

そんなに大きな声で
言わないで

おいおい

もしかして

明るい 関係

意味不明

わけがわからん

なんのために

幕張駅まで

私は

朝7時に来たのか

軽く憤慨
もしかして

パニック

なんでだろう

なんでだろう、なんでだろう
なんとかなんでだろう

ピンチの時にそ

チャンスあり

なんでだらうのメロディが

頭の中で

繰り返される。

リフレイン

なし

眠れる森の美女（前書き）

なし

眠れる森の美女

続けて

はつちやき

「まあ、いつか

楽しもうよ」

何がまあいいのか
わからない

列はのろのろと
しかしながら
確實に進んでいく

キャストがいる

氣がつけば
家の正面の
入り口に
やつてきた

見れば

素敵な花壇

やるな
ディズニー

何名様か聞かれる
どうやら次は

入れるようだ

どうぞ

ニコッと

笑顔で中に

入れる

いろいろ

あつたので

どのくらい

待つたかわからない

何事もなかつたようこ

どんぐり

はつちやき

オハラ

とそろつている

どんぐりは

よく見れば

紺のジャケットに

下はGパンだった。

オハラは

ドレスだった。

なぜ？

ドレスを着ているの？

まさに

眠れる森の美女

美女と野獣の

美女

シンデレラ

白雪姫

美女。

王女様

は

たくさん

ディズニーには

存在した。

眠れる森の美女（後書き）

なし

ジョーブのイントロ（前書き）

なし

ジョーズのイントロ

家の中は
くねくねと
ミッキーの家だった。

やたらと

テンションの高い
はっちゃけ

その後

わーわー

言ってる

オハラとどんぐりに
何も言わずにについて行く

途中

テレビがあつたり
掃除機があつたり
電話があつたり

台所には

冷蔵庫

電子レンジ

いやオープンか

一つ一つに仕掛けがしてある

たぶん

何十回目かだと

思うが

はっしゃき
いちいち
驚いている

ついに

裏の畠にも出た。

もぐらだか
ねずみだかが

ぴょこぴょこ

穴から出てきている

そして

薄暗い映画館のような
場所に

やや多くの人が列に
並びながら
映画を見ている

昔の
ミッキーの
映画だ。

何か怖いイントロが
流れている

ジョーズのイントロの
感じ

待つている間
暗がりで

映画を見ながら

はちゃき

何氣に聞く

「どうだつたホテル」

「すごかつた」

なし

繰り返す（繰りかえす）

なし

都はるみ

オハラ

映画をじっくり見ているのか
何も答えない

どんぐりも同じく

はっちゃせ

続けて

「やつぱり

あのホテル

高いんでしよう

「よく泊まれたね」

またしても映画のスクリーンを見ながら

食べてはいなが

ポップコーンを

食べる感じに

自然に聞く

どんぐり

「うんまあ・・・」

なんだか

語尾を濁している

なんだよ

何を隠している

やはり私たちに
言えないことなのか・・・

はつけられ

「よべばれなかつたね」

どんぐり

観念したやつ

「まあしょりがない」

「悪いことはしてこむつもつは
ないんだけど・・・」

幾分、弱氣な声。

そして次に

投げ捨てるやつ

「金は払つた。問題はない」

やや投げやつな言葉。

・・・・・

金で解決か。

いつからその道にいつたどんぐり
帰つてこ。。

遠くで

演歌のフレーズ

「かえつてこ——こ——か——
かなり

どんぐりとの
距離を感じた。

なし

なし

映画館

映画館なのに

立ち見

そして

人がどんどん
入れ替わる

映画館

スクリーン脇に

出口が

どうやら

次に

ミッキーに会えるらしい

それで

人がどんどん

前方から

出て行つて いるわけだ

うちらの
番がきた

前後の何組かも

一緒のようだ

前は

家族連れ

小さい男の子 3歳くらいか

上にはお姉ちゃん
年長さんと言っていたが
6歳くらいか

とても楽しみに
したいたらることは
待ち時間の
家族の会話で
よくわかつた

やや古ぼけた扉の前に
立つ

その向いに

ミックキーがいるらしい

家族連れの
年長のお姉ちゃんが
開ける

なし

サイン帳（前書き）

なし

サイン帳

10畳くらいの

スペース

ぱあつと

照明が明るい

華やか

それもそのはず

中央に

ミッキーがいる

オーラをはなつている

言葉をしゃべらないが
愛くるしい

私は初めて会った

前の家族連れ

泣きそうだ

お姉ちゃんが

ノートを

ミッキーに

手渡す

ひやひや

サインをしてもひやひや

すごい

ミッキーは

サインできるのか

びっくり

ドラえもんのよいつな

手?

と思つたら

するすると

サインした

その後に

ミッキーを囲んで

写真を撮る

そつか

写真を撮るために

何時間も

待つていたのか

すごい

写真だ

サイン帳（後書き）

なし

なし

アラブの呪文

ミツキーのお世話係

写真を撮る人

2人もスタッフを

従えている

さすが

ミツキー

われわれの番がきた

スタッフさんが

オハラに

声をかけている

ビビテバビテ

ご利用されたなんですか

オハラ

黙つてうなづく

スタッフ続けて

よくお似合いになつてますよ

う。。。

なんだ

びびでばびで???

アラブの魔法か

呪文か

じゅみやか

「ディズニー ホテルにある
[写真やさん]のようだ
素敵にメイクしてくれる
らしさ

せつねやかひは

じぐわ

くらじか聞いた

驚いた

[写真つて意外]するものですね。

夢を置うのも
お金がかかる。

ぼんやりしてこねと
いよいよ

[写真を撮る]のか

スタッフさん

気にせず

もう少し//シキーに
近づいて

笑つてください
と

私に言つていい

かくいつ

私は

ミッキーの周りで
ややひきざみ。

この方も夢の方。

まぶしい光で

写真は撮られた

ミッキーが

また来てねという

感じで

手を振る。

こつして

ミッキーの部屋を

去つた

なし

なし

所ジョージ

外は
相変わらず
人、人、人。

「お昼にしましょう」

そう

はっちゃきは

言つて

ずんずん歩く

あいかわらず
散りゆく秋の

落ち葉の

ように

はいてもはいても

どこからか

オハラを見つけて

見かけて

写真を撮りに

寄つてくる

人、人、人。

家族連れ

女子高生

孫をつれた老夫婦

おばあちゃん

よくまあ
出てくる
ハーフって
すごいんですねえ。
少し所ジョージはいつた。

しかしながら
えらいのは

オハラ
一つ一つ

丁寧に対応している

ディズニーでも
十分やつていけると
思った。

あんまり

丁寧なので

オハラに

大丈夫って声をかけてみた

ぜんぜん

大丈夫

オハラ

無理していいか！――！

所ジョージ（後書き）

なし

なし

「パーちゃんのハニー・ハント」

はつちやきが
指をさす

すごい人だかり

「後で

のれるから」

何

どうやつて

また並ぶのか

詳しく述べは説明されない

その人だかりの前を通り

トランプの家か

トランプのカードの
番人がたちはだかる

緑のもじやもじやが

英國の庭園のよう

そつか

不思議の国のアリス
なんだ

建物に入る

今のオハラにぴったり

そんな世界

店内は

キッキュな

お城が

描かれている

赤やピンクがまぶしい

自分で

好きなものを自由にとつて

食べるらしい

みんな

めいめい

勝手にとつている

お肉料理がおいしい

と

はつぢやきが言つので

ローストチキンのよつたのものを

とる

みんなはいろいろ

迷つてている

つまらない奴らだ

さつやと選べよ

と思つながら

少し

優越感で会計に

ちーん

2040円になります。

なに
なんで

チキンとパンとジュースなに

なぜ?????

なぜそんなに高級?????

なし

なし

生活弱者

愕然とする
私に
いつ追いついたのか
はっちゃき

「前の人分も
後ろの私が。。。」

残念ながら
私にはなすすべはない。

消え入るような声で
一言

はっちゃきの

横顔に

「ありがとう」

さすがに

毎日100円

200円の

生活

そういう生活弱者に

夢の国は
シビアだ

そういうや

入るの入場料は
どひしたんだわ

思い切って
はつちやき

聞く

「ああ はりつとこた」
「2回並ぶのめんどくさいから」
「事前にチケット購入しといた」

なんと入場券6・7千円するひじ
ががーーん

ななんかうつとじだよ

はつちやき
せんせん氣にしていなこよしうで
もちろん
私に対する
アルバイトだから
いいんだよ

と

肩をぼーーんと
たたく

なし

なし

同情

たたかれた肩が
けつこう痛い
痛さもあって何も言えない

しかし

立ち止まって考えた

まあ
なんにせよ
金はない
同情するなり金をくれ

でも同情されたと
思われるのもしゃくだ
迷つたが
思いつきり
元氣に

「ああ、ありがとよ」

はちやきの肩を

たたく

まさに

子どものけんか

ところが
たたかれた
はちやき

大笑い

腹を抱えて笑っている

周りのお客さんが
何事と見ている

またもや

つぼにはまつたか

いいんだ

ケンカよりはまし

周りにわらつてじまかす

へんな大学生くらいに
見られて終わつたでしょつ

料理は

純粋においしかつた

みんなも

まちづかれもあつたのか

黙つて

もくもく
もぐもぐ食べる

「ああおーしかつた」

はつちゅきの

大きな声

「 まあ次、ハニー・ハントに行くよ」

ああ、あの列に並ぶのか???

なし

ファーストパス（前書き）

なし

ファーストバス

何時間まちなんですかああ。

マスオさんのような声で
はつちやきに聞く

「いやすぐだよ」

またまた
冗談でしょ

あの人だかり
ところが
どんぐり
券を出し

これ見て
見れば

券には時刻が書かれている

なんでも

この券があれば

その時間に

その乗り物に

すぐに

乗れるそうだ

すごい

なんという
よくやつたどんぐり

なんでも
ファーストバスといひぢい

聞けばそのために
どんぐりは
ディズニーホテルに
泊まつたらし

うひひひ

何

もう少しぐわしく

前後の脈略がない話だ
腹が立つのはみんな
その事を知つていた

しかしながら私は知らない

もしかして

さつきのホテルがどうたら
こうたらの

話か

なんだよ
言つてくれよ

ファーストパス（後書き）

なし

火サスペンス（前書き）

なし

火サスペンス

はじめから順をおつて話される

私が数週間前

大学で会った時

その計画は始まつた

ディズニーランドの

話をした時

計画がスタートしたのだ

おいおい

計画的犯行!!!!

完全犯罪か!!!!

それは

火サスペンスの見過ぎ

しかしながら

そんなに早いスタートと

思えた

計画も

実は

それでも

ゴールデンウイーク

という

予約の強敵には
かなわなく

どんぐりに
かなりの
財力をつかわせたそ�だ

彼の月のこづかいからしたら
清水の舞台から
飛び降りる覚悟

ていうか

かなり高額の
こづかいでは・・・

さすが

しホテル

泣く子も黙る

超超一流ホテル

ホテルは
ディズニーランド

の前

(シ一にも同じくあり)

実際の会社は
○ランド
だそなだが
東証上場

火サスペンス（後書き）

なし

祝 祝 祝 祝 150話 ハリウッドスター（前書き）

なし

そんなこんなで
泊まりたくても
泊まれない
しホテル
庶民にとつては
高値の花

そこに泊まるのは
特典が
あるからとも言える

なんと
宿泊者は
開園30分前に入場できる
すごい

そうかそれで
命点がいつた

あの正面のゲートは
まさにそれ

それにも
ゲート広い

待ちのお客さんのへの
サービスとして

キャラクターゲスト
専用ゲートかと
思つた。

どんぐりたちも
そこを通つて
入場したらしい

もしかして
もしかしてもしかして
あの時の二人

まさに

赤いじゅーたんでも
引いていれば

某映画祭

大女優

ハリウッドスター

カメラのフラッシュは
待ちのお客が
遠かつたが・・・

かくいう
どんぐり
オハラもここまでとは
思つていずに

恐縮したらしい

そりや そうだ
誰もいないのに
あんなに広いゲート

周りのだいぶ前から
待ってる皆さんからは
羨望のまなざし
といつか嫉妬も感じられ

やつぱりだらうね

共感をよぶ
キャラクター
私は無理ですね。

とこひで

オハラはいつから
泊まったのか？

名探偵ホームズ
もしくはコナンくんのよう
きらりと光った
どんぐりの田

一瞬沈黙。。。

「お答えせねば
ならなにようですね」

犯人が最後に振り返る

回想のようだ

あんたは、

古畑にんざぶろう・・・

若干ものまねがはいつたのが

氣になる

祝 祝 祝 祝 150話 ハリウッドスター（後書き）

なし

ナト座(前書き)

なし

土下座

どんぐり

いきなりその場に
土下座する。

すいませんでした。

なんだどうした
どうなつた

その潔さ

思いつめた感じ
何をしたのだ。

「ちがうが狼狽する

オハラが

突然口をはさむ。

彼は悪くない。

場の雰囲気に耐えきれず

はつちやきが
ぼそつと

「どんぐり、

一人分宿泊代払つたんだと」

がーーーん

それはもしかして
二人で

泊まつたということ

あまりの事に
何も言えない

じょーんとした氣

くらーい田に・・

私の様子を見て
あわてて

はっしゃき

「何言つてんの

オハラは泊まつてないよ

・・・・

何を言つているのか?
理解できない。

はっしゃき

続けて

どんぐりだけ泊まつたそつだ

オハラも

30分早く入れるためだけに。
2名の宿泊にして・・・

そして

オハラは

フランスにいた時から

コスプレをしてみたかった

そうなので

朝、マイクしてもらつたらしい

なんのこつちや

オハラ

急に陽氣に

ジャパニメーション

はやつてました

なぜそこだけ

へんな外国人イントネーション?

あまりの

くだらない結末に

愕然とする

そんな30分はやく入つて
何をしようとしたのか?

氣になる?

ナガ座(後書き)

なし

なし

猛ダッシュ

「何言つてんの」
はつかけやきの
するどい語氣
周りの家族連れがびっくつして
振り返る
そんなこと
関係なく
はつかけやき続けて

「あんた何様」

「あんたラソードなめてるね
「みんなどんな想いで
ここに来てると思つてるの」

どんぐり
もつ
いいよ
何も言つなとこつ
顔で
はつかけやき
見る
オハラはやや泣かんづな
表情

「どんぐりがどれだけの
お金出して

どれだけ苦労して
あなたを
喜ばせようと
思つたかわかなないの

「これから行く
プレーさんだつてそり」

「どんぐりとオハラの協力が
なかつたら
3時間待ちよ」
少し間があつて
静かな声で
「ありがたく思いなさい」

ぶつぶつと
どんぐりが
言つには

GWのランド

尋常でない
混みよう

宿泊客も

ある程度まで
入れるが

開園時間になるまで

モンスターーズインクラインで
待機

後はめざすところまで

猛ダッシュ（後書き）

なし

マランソース(前書き)

なし

マラソンレース

開園後の

争奪戦

オハラのこの衣装
途中で

どんぐりが

チケット2枚持つて

ダッシュ

ちょっとした

マラソン

上位にならないと

いけないマラソン

過酷だ

早い者が得をする

いくら

財力つかつても

ある程度以上は

体力勝負

恐るべし

ランド

オハラとどんぐり

なんとか

ファーストを取つた後、

猛ダッシュで

ハーネハントに駆け込んだらしい
開園間もなかつたので

10分くらい

待つてすぐ乗れたらしい

なんやかんやで
はーはーいいながら
そのどんぐりの
様子を見て

オハラ大笑い

オハラ
久しぶりの
マラソン？！に
楽しかつたらしいが

あとでぼそつと

オハラ
実は

ダンボの空飛ぶなんとかが
乗りたかつたらしい

オハラらしい
ドリームだね

今や

そのダンボ
遊園地に
ありそうな
乗り物にして

1時間待ち

オハラは待たないと乗れない

そんな

オハラとどんぐりの
努力の結集

それが

ハニー・ハント

うちらはその券を
使って入場するのだ
どんぐりたちは
一度乗ったので
いいとのこと

じゃあ

ダンボに乗ろうか

どんぐり
オハラに
言つ

家族連れに

まじつて

ならぶとのこと

後での待ち合わせを

誓う

後で
写真でも
とってあげよう
そう
思った

マランソンレース（後書き）

なし

ハリンソン・フォード（前輪駆動）

なし

ハリソン・フォード

パーさんのハニーハント

ランドでも

1・2を争う

名アトラクション

緊張する

ファーストバス専用入り口
やや人が群がっている
どうする

大丈夫か

ファーストバスは
私は取つてない

静かに黙る

しかし

入場のチェックだけで

そこは

がら空きの状態

通路が続く

逃亡者

ハリソン・フォード

何もしてなくとも

大丈夫だった

誰も並ばない

そこにはいない

先ほど群がっていた人は

早足で

といふか

駆け足で

我先にと

行つてしまつた

ひたすら

建物に向かつて歩く

突然

本流に合流

本流とは

ブーさんに

乗るまで

1時間、2時間待ちの

人々

なし

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3881y/>

風のグラスゴー

2011年12月27日20時51分発行